

令和2年度

事業概要



日本赤十字社 埼玉県支部
Japanese Red Cross Society

は　じ　め　に

赤十字事業の推進につきましては、赤十字会員、ボランティア、地区・分区、学校関係者をはじめとした多くの県民の皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社埼玉県支部では、人間のいのちと健康、尊厳を守り、苦しんでいる人を救いたいという思いのもと、令和２年度も県内赤十字施設一体となり、赤十字思想に共感してくださる皆さまとともに赤十字事業に取り組んでまいりました。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私達の生活において急激な変容に対応せざるを得ない年となりました。

感染拡大防止の観点から、計画していた事業の一部は中止又は内容の変更を余儀なくされ、その中でも災害救護訓練や救急法等の講習会、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター等の研修、各種委員会や奉仕団活動は大きな制約を受けましたが、「救うを託されている」団体として県民の皆さまの期待と信頼に応えることができるよう、コロナ禍で必要とされる事業を実施するとともに、ICT（情報通信技術）やオンラインツールの活用など工夫しながら取り組んでまいりました。

また、赤十字の事業を支える会員の増強と活動資金募集活動では、厳しい経済情勢の中、地区・分区をはじめ関係各位のご尽力により、総額６億３,４００万円を超えるご協力をいただきました。

更に、さいたま・小川・深谷の各赤十字病院では、地域の基幹病院としてニーズに応じた医療を提供するとともに、県や医師会等からの要請に基づき新型コロナウイルス感染症患者の診察や受入れに積極的に取り組んでまいりました。特別養護老人ホームでは、感染者発生を徹底的に防ぎながら地域に根ざした介護の充実に努めました。血液事業では、献血者減少に伴う供給数不足が懸念される中、安全な血液製剤の安定的な確保に向けて啓発活動を強化してまいりました。

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ため、事業を進めることができましたのは、ひとえに関係各位のご協力の賜物であり、心から深く感謝申し上げます。

今後も赤十字事業に対し、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日本赤十字社埼玉県支部

目 次

I 事業実施状況

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応1

2 災害救護

(1)災害救護活動	2
(2)災害救護訓練	2
(3)災害救護関係研修・会議	3
(4)赤十字防災ボランティアの養成等	4
(5)その他の救護活動	4
(6)日赤災害医療コーディネートチームの設置	5
(7)支部管内救護装備・資材の整備	5
(8)地区・分区に対する救援物資配分及び救護装備・資材の整備	5
(9)義援金等の取扱い	7

3 救急法等の講習

(1)救急法	8
(2)水上安全法	8
(3)健康生活支援講習	9
(4)幼児安全法	9
(5)雪上安全法	9
(6)その他の講習	9
(7)講習普及に対するボランティアの育成	10
(8)講習指導員の養成	10
(9)救急法等指導員在籍状況	11
(10)講習指導員の育成	11
(11)講習普及に関する会議	11
(12)講習資材等の整備	12

4 赤十字奉仕団

(1)奉仕団数及び団員数	13
(2)主な活動内容	13
(3)奉仕団関係主要事業	14

5 青少年赤十字

(1)青少年赤十字加盟校の状況	15
(2)主な事業	15

6 医療事業及び医療社会事業

(1)病院の概要等	18
(2)病床数及び職員数	18
(3)診療科別・入院外来別延べ患者数内訳	19
(4)救急患者取扱状況	20
(5)病院における医療社会活動	21
(6)新型コロナウイルス感染症対応	23

7 社会福祉活動

(1)運営・処遇方針	24
(2)施設概要	25
(3)特別養護老人ホーム入所者状況	26
(4)短期入所生活介護事業(ショートステイ)利用状況	26
(5)通所介護事業(デイサービス)利用状況	26
(6)居宅介護事業所利用状況	26
(7)社会福祉施設の業務改善	26

8 血液事業

(1)献血状況及び供給状況	27
(2)実施事業	27
(3)献血状況	28

9 国際活動

(1)国際救援・開発協力事業	31
(2)国際交流・派遣事業	31
(3)消息不明者の安否調査への協力	31

10 看護師養成

11 赤十字思想の普及、広報活動の充実

(1)キャンペーン、イベント等の開催・参加	32
(2)テレビ・新聞等による広報	33
(3)印刷物等の広報資材の作製、配布	33
(4)YouTubeチャンネルの開設	34
(5)その他の広報	34

12 会員増強運動

(1)活動資金募集実績	36
(2)会員数伸長状況(過去5年間)	37
(3)活動資金募集実績額伸長状況(過去5年間)	37
(4)指定事業活動資金・特定寄付金	37
(5)指定事業活動資金による事業	38
(6)地区・分区担当職員を対象とした研修会等の開催	38
(7)赤十字会員増強運動地区会議(説明会)への職員派遣	39
(8)活動資金確保対策検討会の開催	40
(9)その他	41

13 日本赤十字社埼玉県有功会

(1)特別活動資金募集に対する協力(過去5年間)	42
(2)事業等	42
(3)組織等	43

14 評議員会

(1)評議員会の開催	44
------------------	----

II 会計報告

1 一般会計

(1)一般会計歳入歳出決算書	45
----------------------	----

2 特別会計

(1)医療施設特別会計歳入歳出決算書	46
(2)社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書	48

3 会計監査	49
--------------	----

III 資料

1 埼玉県支部役職員名簿	50
2 災害救護資材配備状況	52
3 救援物資・弔慰金内訳	56
4 臨時救護実施状況	58
5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況	59
6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数	63
7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿	65
8 青少年赤十字加盟校一覧	66
9 地区・分区活動資金募集実績額	73
10 活動資金募集内訳表	76
11 特別社員受章者	78
12 一日赤十字実施状況	78
13 戦後75年 戦時救護班史料展実施内容	79

I 事業実施状況

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応

(1)救護活動・医療支援

国や埼玉県からの要請を受け、医療スタッフ等の派遣を行ったほか、感染症の発生及びまん延状況下における救護活動や体制整備を行った。

(ア)県内宿泊療養施設に一時滞在している軽症者への診療、健康管理のため、小川赤十字病院及び深谷赤十字病院から医師、看護師を延べ14日間・23人派遣。

(イ)新型コロナウイルス感染症対策の現場支援のため、埼玉県コロナ対策チーム(COVMAT)の一員として、さいたま赤十字病院及び深谷赤十字病院から県内医療施設や福祉施設へ医師、主事を延べ9日間・13人派遣。

(ウ)さいたま市大宮区内の夜の街関連の従業員に対するPCR検査にさいたま赤十字病院が協力。

(エ)大規模災害が発生した際に県内の避難所等へ配付する救援物資として、感染予防セット(マスク・体温計・手指消毒液の3点を1セット)を1,000セット整備。

(オ)救護活動用の各種感染防護資材(サージカルマスク・手袋・ゴーグル・ガウン・ヘアキャップ等)を整備。

(カ)新型コロナウイルス感染症を踏まえた救護班の活動マニュアルを策定。

(キ)「新型コロナウイルスの感染に留意した救護班活動」に関する研修教材を制作。

(2)医療体制

埼玉県内3つの赤十字病院では、県や医師会等からの要請に基づき、発熱患者対応医療機関として、感染の疑いがある患者も含め日夜、診察・治療にあたっている。

また、入館者への検温の実施や入院患者家族の面会制限、帰国者接触者外来の設置など感染防止に取り組んでいる。

(3)差別・偏見への啓発活動

新型コロナウイルス感染症が持つ「病気」「不安」「差別」の3つの顔が関連して引き起こされる負のスパイラルを断ち切るために一人ひとりにできることを伝える活動として、県内学校の児童・生徒や教職員のほか、地域の人たちに向けて、人権教育の出前授業を行った。

●「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

https://www.jrc.or.jp/saigai/news/200326_006124.html

(4)各施設におけるコロナ禍での対応

(ア)血液センター

外出自粛の影響により献血者が減少している中、輸血が必要な方の命を繋ぐために、日々協力を呼びかけている。また、献血会場では、感染防止の徹底を図っている。

(イ)社会福祉施設

県内2つの特別養護老人ホームでは、入所者の感染防止対策のため、面会の制限など細心の注意を払いながら、生活の支援を行っている。

2 災害救護

災害救護活動は日本赤十字社の最も重要な事業のひとつであり、社会から求められる大きな使命である。そのため、災害時に備えて常備医療救護班10個班（1個班標準6人編成）、血液供給要員及び災害対策本部要員を救護員として189人を登録し、救護訓練や研修を実施して研鑽に努めるなど、救護体制に万全を期している。

その他、救護装備等の充足整備、被災者への救援物資配分、弔慰金の贈与、義援金の受付など、それぞれの災害の規模や状況に即して柔軟に幅の広い対応を行っている。

(1)災害救護活動

ア 令和2年7月豪雨災害

7月12日(日)～16日(木)内閣府調査チームの一員として、さいたま赤十字病院の医師1名(災害医療コーディネーター)を熊本県へ派遣した。

(2)災害救護訓練

災害時に迅速な救護活動ができるよう次の訓練を行った。

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第41回九都県市合同防災訓練 (埼玉県会場)	11月1日	SKIPシティ (川口市)	支部職員2人
日本赤十字社本社・第2ブロック 支部災害救護訓練	12月5日	埼玉県支部他 (オンライン研修 として実施)	支部職員・管内各病院職員 約100人
日本赤十字社埼玉県支部災害救 護訓練(中止)	—	—	—
関東ブロックDMAT訓練(中止)	—	茨城県内各所	—
埼玉県特別機動援助隊 (埼玉SMART)合同訓練(中止)	2月5日	深谷市川本公民館	—
日本赤十字社第2ブロック支部 先遣要員訓練(中止)	—	—	—
日本赤十字社第2ブロック被災地 支部災害対策本部運営・支援訓練	3月5日	第2ブロック各支部	支部職員3人

その他：広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練等

(3)災害救護関係研修・会議

災害救護業務の推進及び知識・技術の向上を図るため、各種研修会や会議を開催した。

ア 研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
日本赤十字社埼玉県支部 救護班要員研修会	3月～6月の間	管内各施設 (動画教材の視聴)	対象者約100人予定 (病院職員(救護員登録者)、 支部職員等)※
全国赤十字救護班研修会 (中止)	6月19日～21日	東京都支部ほか	—
	1月10日～12日		
	2月20日～22日		
日赤災害医療コーディネート研修会 (中止)	5月16日～17日	日赤本社	—
	9月19日～20日		
	12月12日～13日		
	12月 9日～12日		
埼玉県独自DMAT養成研修	12月17日・18日	埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター (さいたま市)	指導スタッフ4人(さいたま日赤 ・深谷日赤・埼玉県支部) 参加者1人(小川日赤)
こころのケア指導者養成研修会	12月15日～18日	オンライン実施	小川赤十字病院1人
救護員としての赤十字看護師 研修会	3月19日	埼玉県支部 深谷赤十字病院 (オンライン開催)	深谷赤十字病院看護師13人 支部職員3人
こころのケア研修会	2月5日	深谷赤十字病院	深谷赤十字病院職員23人
支部職員対象スキルアップ研修① 「災害救護の基礎知識」	7月17日・22日	埼玉県支部	支部職員延べ18人
支部職員対象スキルアップ研修② 「支部災害対策本部設営実習」	10月29日	埼玉県支部	支部職員延べ15人
日赤看護大大宮キャンパス 災害看護活動論	2月22日・24日・ 26日	埼玉県支部 (オンライン開催)	支部職員7人
支部災害対策本部要員研修会	3月8日・10日	埼玉県支部	支部職員延べ25人

その他:埼玉SMART基礎・応用研修(通年)、第三級陸上特殊無線技士養成講習 他

※令和3年6月末日までを視聴期間としているため人数は概算。

イ 会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当課長会議	5月19日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員2人
救護員指導者会議(第1回)	6月	書面審議	支部管内指導者9人
救護員指導者会議(第2回)	8月3日	支部・管内各病院	支部管内指導者13人
救護員指導者会議(第3回)	10月12日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者13人
救護員指導者会議(第4回)	11月30日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者12人

(4) 赤十字防災ボランティアの養成等

大規模災害に備え、一般市民の防災意識高揚と災害時の赤十字防災ボランティアを養成するため、次のとおり研修や会議等を開催した。

赤十字防災ボランティア養成事業

研修会名	日程	開催場所等	参加人数等
防災ボランティア・リーダー養成研修会	1月16日	埼玉県支部 (オンライン実施)	2人

(5) その他の救護活動

名称	日程	開催場所等	参加人数等
臨時救護 埼玉県ナース赤十字奉仕団 (式典、スポーツ大会等) (中止)	年間	県内各地	—
大宮氷川神社雑踏救護	12月31日～1月3日	大宮氷川神社 (さいたま市 大宮区)	看護師、職員、奉仕団34人 取扱患者数 1人 迷子案内数 0人
埼玉県ナース赤十字奉仕団 研修会・勉強会	9月、11月	埼玉県支部 さいたま市 春日部市	延べ23人

(6)日赤災害医療コーディネートチームの設置

大災害が発生した際、被災地における医療ニーズを把握し、本社又は支部の災害対策本部に効率的かつ効果的な災害医療活動を実施するための専門的な助言をすること。また、自治体や他の医療救護機関との連携、調整を行うことを目的に、埼玉県支部に日赤災害医療コーディネートチームを設置している。

【日赤災害医療コーディネートチーム登録・任命状況】

(令和3年3月31日現在)

登録・任命区分	人数	内訳
災害医療コーディネーター	8人	さいたま赤十字病院職員 4人 小川赤十字病院職員 2人 深谷赤十字病院職員 2人
コーディネートスタッフ	21人	さいたま赤十字病院職員 8人 小川赤十字病院職員 3人 深谷赤十字病院職員 4人 埼玉県支部職員 6人

(7)支部管内救護装備・資材の整備

大規模災害発生時に迅速かつ効果的な救護活動を実施することを目的に、次の装備・資材を整備した。

【令和2年度配備災害救護装備・資材(支部財源 ※管内施設への配備を含む)】

品目	配備数	品目	配備数
サージカルマスク	2,000枚	フェイスシールド	1,120枚
液体防護ガウン	1,000枚	飛沫感染防止ゴーグル	500個
ディスポ手袋	10,000枚	ヘアキャップ	500枚

(8)地区・分区に対する救援物資配分及び救護装備・資材の整備

県内において火災・床上浸水などの小規模災害に対して、迅速に配分を行った(配分先はp.56～58参照。)

ア 救援物資分置状況 49地区・23分区

分置総数

布団セット	837組	毛布	1,072枚	緊急セット	759個
-------	------	----	--------	-------	------

イ 被災世帯数及び人員並びに配分品内訳

(令和3年3月31日現在)

	被災世帯数 (戸)	人数 (人)	配分品内訳		
			布団セット(組)	毛布(枚)	緊急セット(個)
火災	115	267	232	218	126
床上浸水	39	75	11	45	39
その他	4	11	18	25	43
合計	158	353	261	288	208

ウ 災害弔慰金

31件 700,000円

エ 赤十字救援車の配備

5地区・分区に対し、赤十字救援車を5台配備した(配備先はp.52参照。)

オ 地区・分区へ配備した救護装備・資材

地域における災害救護体制の整備を図ることを目的として策定した「日本赤十字社埼玉県支部 地区・分区救護装備・機器配備要綱(第6次3か年計画:令和元年度～3年度)」に基づき、地区・分区向け資材を順次配備した。令和2年度はその3か年計画の第2年次であり、整備品目は以下のとおりである。(18品目)

品 目	配備数	配備地区・分区数	品 目	配備数	配備地区・分区数
LPガス発電機・コードリールセット	23セット	18	投光器	2台	1
天幕(2間×3間)	3張	3	天幕(1.5間×2間)	6張	6
軽量折りたたみテント	5台	5	プライベートテント	14張	4
パーテーション	31台	9	簡易ベッド	66台	7
大型扇風機	48台	14	車椅子	29台	8
ハンズフリー拡声器	13個	8	トランシーバー(一対)	5セット	4
手回し充電式防災ラジオ	1個	1	LEDランタン	46個	11
中型救急箱	11個	11	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	19セット	12
自動ラップ式簡易トイレ	9台	12	非常用糞尿処理セット	12セット	5

(9)義援金等の取扱い

日本赤十字社では国内外の災害等に対する義援金・救援金を受付け、被災地に送金している。

ア 国内災害義援金

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

義援金名	件数	金 額
東日本大震災義援金	313件	4,032,591円
平成 28 年熊本地震災害義援金	159件	1,010,939円
平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金	111件	221,367円
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	107件	436,683円
令和元年 8 月豪雨災害義援金	88件	304,606円
令和元年台風第 15 号千葉県災害義援金	69件	452,046円
令和元年台風第 19 号災害義援金	234件	2,539,595円
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	586件	22,808,568円
令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金	32件	376,860円
合計	1,699 件	32,183,255円

イ 海外救援金

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

救援金名	件数	金額
無指定海外救援金	5件	56,434円
中東人道危機救援金	6件	10,727円
バングラデシュ南部避難民救援金	31件	65,680円
NHK海外たすけあい	821件	1,305,467円
合計	863件	1,438,308円

ウ 一円玉募金

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

青少年赤十字加盟校(園)募金	件数	金額
一円玉募金(教育等支援事業募金)	5件	109,574円

3 救急法等の講習

不慮の事故や急病、災害に対する救命手当・応急手当の方法など、県民の命と健康を守るため、救急法をはじめとする各種講習を県内各地で開催するとともに、各機関・団体等からの依頼に応じて講習指導員を派遣し、健康・安全に関する知識と技術の普及と啓発を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、多くの講習が既定のカリキュラムで実施することが困難となった。

現在では、受講者数の制限やソーシャルディスタンスを確保することにより、受講者や指導員等すべての講習関係者の安全を確保しながら集合型の講習を開催。また、オンライン形式での講習配信環境も整備し、一人でも多くの人に習得いただける体制を作り講習普及を行った。

(1)救急法

一次救命処置（心肺蘇生法とAEDの使い方）やけがの手当についての知識と技術の普及を目的に、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、次のとおり短期講習のみを開催した。

講習会名	回数	受講者数
基礎講習	開催なし	
救急員養成講習		
短期講習	75回	1,305人

※基礎講習：傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去）等救急法の基礎

※救急員養成講習：急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、搬送及び救護

※短期講習：基礎講習及び救急員養成講習の内容の一部

(2)水上安全法

水の事故から命を守るための知識と技術の普及を目的として講習を行っているが、新型コロナウイルスへの感染防止のため、すべての講習会を中止とした。代替事業として、これまで特に指導依頼が多かった「着衣泳」の講習動画を制作（協力：埼玉県教育委員会・日赤埼玉水上安全奉仕団）し YouTube で配信した。この動画は、県内31校の小学校ホームページで紹介されたほか、警察署など多くの場で教材として活用いただいている。

講習会名	回数	受講者数
救助員Ⅰ養成講習	開催なし	
救助員Ⅱ養成講習		
短期講習		

※救助員Ⅰ養成講習：水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※救助員Ⅱ養成講習：海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※短期講習：救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部

(3)健康生活支援講習

家庭における高齢者の健康管理、介護予防、介護の仕方等の知識と技術の普及を目的として講習を行っているが、今年度は、災害時高齢者生活支援講習を中心に次のとおり開催した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	開催なし	
災害時高齢者生活支援講習	6回	67人
短期講習	2回	65人

※支援員養成講習：高齢期における健康の維持と増進、家庭内の看護、自立に向けての介護及び地域の高齢者支援

※災害時高齢生活支援講習：災害が高齢者に及ぼす影響や避難所生活で気を付けたい症状や支援技術

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(4)幼児安全法

子どもの事故予防や応急手当、看病の仕方などの知識と技術の普及を目的として次のとおり講習を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた乳幼児に対する一次救命処置（心肺蘇生法とAEDの使い方）を中心に次のとおり開催した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	開催なし	
短期講習	28回	314人

※支援員養成講習：子どもに起こりやすい事故の予防と手当及び病気への対応

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(5)雪上安全法

安全にスキーを行うために、雪上での事故防止、急病人やけが人の救助、手当などの知識と技術の普及を目的とする講習。（令和2年度は開催なし）。

(6)その他の講習

ア 第一種運転免許応急救護処置指導者養成講習会

毎年、埼玉県自動車教習所協会からの依頼に基づき、所属の教習所教官を対象に応急救護処置講習指導者の養成を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い中止となった。

イ 赤十字減災セミナー

これまでの多くの災害から学んだ知識や経験を、日常生活における減災に役立つセミナーとして実施した。

依頼件数	受講者数
2件	40人

ウ 赤十字防災セミナー（日本赤十字社防災教育事業）

地域において災害発生時の応急対応にあたるボランティアの育成を目的として、赤十字奉仕団員等を対象に実施した。

日 程	受講対象者・団体名	内 容	受講者数
9月10日	埼玉県ナース赤十字奉仕団	災害への備え	10人
10月16日	さいたま市与野赤十字奉仕団	災害への備え	13人
11月16日	横瀬町赤十字奉仕団	災害への備え	13人
2月20日	日赤日高市地区 (町内会・自治会)	災害への備え	9人
3月12日	美里町赤十字奉仕団	災害への備え	22人
合 計			67人

(7)講習普及に対するボランティアの育成

講習事業の普及推進のため、各奉仕団が主体となって団員を対象に研修を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一堂に会する人数を最小限とし、開催期間を短縮するほか、感染予防対策を徹底したうえで実施した。

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
日赤埼玉水上安全奉仕団研修会(中止)	6月8日～9日	神奈川県三浦市	—
埼玉県子育て介護赤十字奉仕団研修会・勉強会	10月23日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 21人 支部職員延べ 6人
	11月13日	埼玉県支部	
	12月11日	埼玉県支部	
	1月23日(中止)	埼玉県支部	
埼玉安全赤十字奉仕団研修会・勉強会	7月12日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 20人 支部職員延べ 7人
	12月19日	埼玉県支部	
	2月13日(中止)	埼玉県支部	

(8)講習指導員の養成

講習普及体制を拡充強化するため、次のとおり指導員養成のための講習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、次年度へ延期した。

名 称	日 程	開催場所	養成人数
赤十字救急法指導員養成講習 (次年度に延期)	11月27日、28日、 12月5日、6日、7日	埼玉県支部	—
赤十字水上安全法指導員Ⅱ 養成講習(中止)	10月5日～6日	神奈川県 支部	—

(9)救急法等指導員在籍状況

	赤十字職員	ボランティア	合計
救急法指導員	99人	107人	206人
水上安全法指導員	5人	50人	55人
雪上安全法指導員	1人	4人	5人
健康生活支援講習指導員	42人	35人	77人
幼児安全法指導員	45人	61人	106人

(10)講習指導員の育成

各都道府県支部で実施している赤十字講習がより充実したものになるよう、講習指導者の指導技術の向上・統一を図ることを目的として次のとおり各種研修会を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、開催形態を見直して実施した。

ア 赤十字救急法等講師研修会

名称	日程	開催方法	参加人数等
健康生活支援講習・ 幼児安全法合同講師研修会	3月1日～3月19日	オンライン実施	4人
水上安全法講師研修会	3月1日～3月19日	オンライン実施	1人
救急法講師研修会	3月1日～3月19日	オンライン実施	6人

イ 赤十字講習指導員研修会

名称	日程	開催方法	参加人数等
幼児安全法指導員研修会	4月13日	文書伝達	指導員 110人
健康生活支援講習指導員研修会	3月28日	文書伝達	指導員 77人
水上安全法指導員研修会	3月28日	文書伝達	指導員 55人
救急法指導員研修会	3月28日	文書伝達	指導員 206人

(11)講習普及に関する会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当 課長会議	6月10日	オンライン実施	支部職員4人
講習担当課長会議(中止)	9月17日～18日	本社	—
施設別講習指導員会議	1月8日～31日	書面調査	—
第2ブロック支部講習普及事業研 究会	10月20日	オンライン実施	支部職員 2人
赤十字講習推進委員会	6月24日	オンライン実施	支部職員 1人
赤十字講習担当者研修会	1月29日	オンライン実施	支部職員 1人

(12)講習資材等の整備

品目	整備数
自走式車いす	5台
ライフジャケット(幼児用・小学生用・大人用)	10着
救助用ロープ(25メートル)	1本
ヘルメット	8個
救命浮輪	1個
訓練人形	2体
手洗いチェッカー	1個

4 赤十字奉仕団

地域のボランティアが主体となって、人道博愛の精神のもとに、災害時の救援活動、献血の推進、障がいを持つ方や高齢者の福祉向上のための奉仕活動などを実践し、明るく住みよい地域社会づくりに貢献している。

なお、令和2年度における奉仕団の共通活動目標は、次のとおりとし、地域や団体ごとに工夫を凝らしたPRに努め、赤十字のすそ野を広げるための活動も推進した。

<共通活動目標>

- ・地域防災訓練への積極的参加
- ・地域に求められる奉仕団活動の推進
- ・赤十字防災セミナーの受講

(1) 奉仕団数及び団員数

(令和3年3月31日現在)

区分 地区別	管内 総数	結成 地域数	結成 比率	奉仕 団数	団員数		
					男	女	計
地域奉仕団(市・区) ^{※1}	49	28	57%	28	396	3,995	4,391
〃 (町・村)	23	21	91%	21	118	1,537	1,655
小計	72	49	68%	49	514	5,532	6,046
青年奉仕団	-	-	-	1	6	6	12
特殊奉仕団 ^{※2}	-	-	-	9	575	325	900
救護ボランティア	-	-	-	-	41	16	57
合計	72	49	68%	59	1,136	5,879	7,015

※1さいたま市を除く市及びさいたま市内10区の合計

※2特殊奉仕団・・・マジック、安全、病院ボランティア、ナース、支部援助、水上安全、青少年赤十字賛助、子育て介護、埼玉工業大学(大学職員・学生)

(2) 主な活動内容

毎年実施している会員増強運動をはじめとした赤十字事業全般への協力、福祉施設・医療機関等への慰問や作業奉仕などの活動及びボランティア（奉仕団員）のスキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染症まん延に伴う外出自粛要請等により、中止や規模を縮小して実施した。

コロナ禍においても行える活動として、マスク等感染防止対策に活用できる手作り品を製作し、地域の福祉施設等に寄贈したほか、感染症まん延下で災害が発生した場合に備えた炊き出しの実施方法の検討会を開催し、その報告動画を制作するなど、各奉仕団で創意工夫した活動を行った。

(3)奉仕団関係主要事業

ア 奉仕団員の研修等

名称	日程	開催場所	参加人数
ボランティア基礎研修会（中止）	第1回 6月25日	埼玉県支部	—
	第2回 6月30日	坂戸市文化会館	—
	第3回 7月 6日	彩華園	—
ボランティアリーダーシップ研修会（中止）	第1回 3月 9日	埼玉県支部	—
	第2回 3月11日	埼玉県支部	—

その他：

- ・手作り品作製講習会〔8月28日：埼玉県支部〕 中止
- ・赤十字奉仕団委員長研修会〔10月6日：埼玉県支部〕 中止
- ・第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会〔5月19日：埼玉県支部〕 中止
- ・第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会常任委員会〔5月19日：埼玉県支部〕 中止
- ・第2回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会〔12月10日：支部〕 委員14人が出席
- ・第2回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会常任委員会〔12月10日：埼玉県支部〕
正副委員長2人、常任委員4人が出席
- ・赤十字フェス2020 in 浦和〔11月1日：埼玉県支部〕 中止
- ・第2ブロック支部奉仕団委員長・担当課長会議〔11月26日～27日：山梨県支部等〕 書面開催
- ・赤十字奉仕団中央委員会〔12月3日：本社等〕 オンライン実施 支部委員会委員長1人が参加

イ 青年奉仕団の事業

名称	日程	開催場所等	参加人数
埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会総会	5月10日	オンライン実施	参加団員11人
第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月27日	オンライン実施	参加団員2人
クリスマス献血キャンペーン2020	12月18日～20日	オンラインイベント実施	—

その他：青年赤十字奉仕団全国協議会、青少年赤十字活動支援

ウ 賛助奉仕団の事業

名称	日程	開催場所等	参加人数
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月5日	書面審議	—
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2ブロック研究会	10月30日	書面審議	—
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団全体 研修会（中止）	2月1日～2日	国立女性 教育会館	—

その他：青少年赤十字加盟校・未加盟校の訪問、加盟促進

エ 活動費の助成

地域奉仕団、特殊奉仕団、青年奉仕団に対し、活動費の助成を行った。

オ 赤十字PR用資材の提供

地域奉仕団に対し、赤十字PR用資材（リーフレット、ポケットティッシュ等）の提供を行った。

5 青少年赤十字

赤十字精神に基づき、青少年が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的に「健康安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の三つの実践目標を掲げて活動を展開した。

(1) 青少年赤十字加盟校の状況

新たに 11 校が新規加盟し、596 の学校（園）で約 19 万人のメンバーが活動を行った。また、青少年赤十字研究奨励費を 49 校に交付し、活動の多様化・活性化を促進した。

ア 加盟校（園）、メンバー数

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
学校数	129園	256校	147校	62校	2校	596校(園)
メンバー数	17,692人	109,198人	54,085人	12,369人	189人	193,533人

イ 令和 2 年度新規加盟校（園）

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
学校数	0園	5校	6校	0校	0校	11校(園)
メンバー数	0人	2,289人	1,497人	0人	0人	3,786人

ウ 令和2年度退会校（園）

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
学校数	0園	0校	0校	0校	0校	0校
メンバー数	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(2) 主な事業

子どもたちの自主性や自律性を引き出すため、学校の先生が指導者となりメンバー（児童・生徒）を対象に毎年宿泊型集合研修「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染防止のため全て中止とした。

こうした中、高校生のメンバーが主となる高校生協議会の活動や青少年国際交流事業などについては、オンラインツールを活用することで新たな形での学びや活動の機会を創出することができた。

ア 各種研修会等

名 称	日 程	開催場所等	参加人数等
埼玉県青少年赤十字高校生協議会(中止)	5月6日	埼玉県支部	—
青少年赤十字指導者協議会総会・研究協議会	6月5日	書面審議	—
青少年赤十字指導者研修会(中止・資料配付)	8月20日	埼玉県支部	—
こども赤十字指導者研修会(中止・資料配付)	8月21日	埼玉県支部	—

その他:指導者協議会役員会 第1回[5月22日:中止]

臨時[11月18日:支部およびオンライン]

第2回[2月24日:支部およびオンライン]

高校生協議会役員研修会[9月20日:オンライン実施]

青少年赤十字地区協議会等補助金説明会[6月17日:中止(資料配付)]

青少年赤十字地区協議会リーダーシップ・トレーニング・センター報告会[8月20日:中止]

救急法(基礎・救急員養成)講習会[8月11日～13日:中止]

幼児安全法講習会[8月17日～19日:中止]

<全県>

名称	日程	開催場所等	参加人数
小中学生リーダーシップ・トレーニング・センター(中止)	8月1日～3日	加須 げんきプラザ	—
高校生リーダーシップ・トレーニング・センター(中止)	8月6日～8日	長瀬 げんきプラザ	—
第43回群馬県・埼玉県 青少年赤十字高校生交歓研修会(中止)	2月7日	埼玉県支部	—

その他:高校生テーマ別学習会①[9月20日:中止]

高校生テーマ別学習会②(新型コロナウイルスの学習)[11月29日:オンライン実施]

高校生テーマ別学習会③(国際交流会)[1月17日:中止]

クリスマス献血キャンペーン2020[12月18日～20日:JRCの参加なし]

<地区>

県内4地区(比企・北埼玉・埼玉葛・大里)で実施予定であった地区リーダーシップ・トレーニング・センターは全て中止となった。(入間地区においては東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていたことから計画策定時点で中止)

<本社主催>

名称	日程	開催場所等	参加人数
令和2年度全国青少年赤十字 スタディー・プログラム(※) ※スタディー・センター代替事業	3月20日	オンライン実施	高校生2人

その他: 青少年赤十字支部担当者研修会[4月8日:オンライン実施]

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

[オリパラ開催のため未実施]

青少年赤十字全国指導者協議会総会[9月11日:オンライン実施]

青少年赤十字指導者中央講習会[隔年開催のため未実施]

青少年赤十字研究会[1月8日:オンライン実施]

<第2ブロック主催>

名 称	日 程	開催場所等	参加人数
青少年赤十字指導者研究協議会 総会・研究集会	8月17日	東京都支部 (書面審議)	—

イ 防災教育プログラム

教材名	対象	回数	参加人数
まもるいのち ひろめるぼうさい	児童生徒および教員等	5回	877人

ウ 国際親善活動

名 称	日 程	開催場所等	参加人数等
令和2年度青少年赤十字 国際交流事業	11月15日	オンライン実施	高校生7人、指導者1人、 支部職員2人
大韓赤十字社京畿道支社 JRC/RCYメンバー派遣事業 (中止)	8月11日～15日	韓国京畿道	—
大韓赤十字社京畿道支社 JRC/RCYメンバー訪問団交 流事業(中止)	1月15日～19日	県支部他	—

エ 人権教育の出前授業

教材名	対象	回数	参加人数
新型コロナウイルスの3つの 顔を知ろう！	児童生徒および教員等	13回	5,176人

オ 研究奨励校

学校・幼稚園		
加須市立礼羽幼稚園 さいたま市立辻小学校 さいたま市立日進小学校 さいたま市立大宮東小学校 さいたま市立常盤北小学校 さいたま市立大谷場東小学校 熊谷市立石原小学校 熊谷市立籠原小学校 熊谷市立大幡小学校 川口市立鳩ヶ谷小学校 川口市立芝富士小学校 川口市立戸塚小学校 行田市立須加小学校 行田市立中央小学校 秩父市立秩父第一小学校 加須市立原道小学校 加須市立花崎北小学校 羽生市立手子林小学校 鴻巣市立赤見台第二小学校	深谷市立川本南小学校 上尾市立大石小学校 越谷市立大沢小学校 越谷市立城ノ上小学校 越谷市立千間台小学校 和光市立下新倉小学校 坂戸市立片柳小学校 鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校 長瀬町立長瀬第二小学校 神川町立神泉小学校 さいたま市立大宮八幡中学校 さいたま市立白幡中学校 川口市立西中学校 行田市立南河原中学校 行田市立行田中学校 秩父市立尾田蒔中学校 加須市立北川辺中学校 加須市立昭和中学校 加須市立加須平成中学校	東松山市立北中学校 春日部市立豊春中学校 春日部市立春日部中学校 春日部市立春日部南中学校 鴻巣市立鴻巣西中学校 深谷市立上柴中学校 久喜市立久喜東中学校 久喜市立鷲宮中学校 蓮田市立平野中学校 毛呂山町立毛呂山中学校 ときがわ町立都幾川中学校

6 医療事業及び医療社会事業

高度化、専門化の進む医療環境に対応するため、日本赤十字社では医療事業推進本部制を敷き、健全かつ安定的な病院経営を維持するためグループ運営に努めている。

県内においてはさいたま、小川、深谷各赤十字病院が各地域の中核医療機関として、高度医療、救急医療、周産期医療、保健衛生活動の中心的役割を担っているほか、新型コロナウイルス感染症患者の治療・受け入れや病床確保に努めるなど、赤十字の理念に基づく幅広い医療事業を展開している。

(1) 病院の概要等

名称	さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
創立年月日	昭和9年5月15日	昭和14年5月27日	昭和25年11月1日
所在地	さいたま市中央区新都心1-5	比企郡小川町小川1525	深谷市上柴町西5-8-1
電話番号	048-852-1111	0493-72-2333	048-571-1511
敷地(延)	14,001.33㎡	45,157.54㎡	24,728.8㎡
建物(延)	67,333.69㎡	21,588.93㎡	34,421.64㎡
院長名	安藤 昭彦	竹ノ谷 正徳	伊藤 博

(2) 病床数及び職員数

(令和3年3月31日現在)

病院名		さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
病床数	一般	632床	252床	468床
	感染症	0床	0床	6床
	精神	6床	50床	0床
	計	638床	302床	474床
職員数	医師	234人	31人	97人
	看護師	781人	259人	458人
	薬剤師	36人	16人	25人
	その他	395人	198人	265人
合計		1,446人	504人	845人

(3)診療科別・入院外来別延べ患者数内訳

(令和2年4月～令和3年3月 単位:人)

診療科	入院			外来		
	さいたま	小川	深谷	さいたま	小川	深谷
内科	58,861	35,732	14,133	99,174	41,334	12,555
血液内科	-	-	13,822	-	-	11,542
腎臓内科	-	-	7,051	-	-	5,386
精神科・神経科	0	10,045	0	4,580	14,664	4,741
神経内科	6,773	0	-	8,360	0	-
脳神経内科	-	-	1,603	-	-	4,918
呼吸器科・呼吸器外科	2,196	0	2,111	2,929	0	1,395
消化器科・胃腸科	0	0	6,323	0	0	11,316
循環器内科	17,027	0	13,877	36,489	0	10,180
小児科	2,908	0	3,837	4,443	0	9,356
外科	21,651	8,981	14,817	28,657	13,201	16,341
整形外科	29,811	17,491	10,063	25,552	21,459	16,235
形成外科	715	0	1,788	2,531	0	4,772
脳神経外科	8,391	2,160	7,815	4,074	6,625	3,511
心臓血管外科	3,720	0	1,801	2,996	0	2,498
小児外科	0	0	470	0	0	1,807
皮膚科	248	464	21	6,721	5,923	10,184
泌尿器科	4,460	2,788	1,840	14,658	13,066	6,273
産婦人科	13,822	0	5,617	21,828	2,299	13,269
眼科	4,626	1,584	266	15,650	11,286	9,006
耳鼻咽喉科	1,722	89	251	7,774	3,176	2,907
放射線科	0	0	0	9,938	640	4,468
麻酔科	0	0	7	4,171	827	2,388
救急科	17,532	0	7,259	6,189	0	984
緩和ケア科	0	0	3,897	113	0	877
歯科口腔外科	678	0	463	11,906	0	7,506
合計	195,141	79,334	119,132	318,733	134,500	174,415

※さいたま赤十字病院における呼吸器患者数は、呼吸器外科のみの人数

※深谷赤十字病院における精神科患者数(入院分)は内科に含む

(4)救急患者取扱状況

ア 時間帯による搬送別状況

(単位:人)

時間帯	搬送手段	搬送事由	さいたま	小川	深谷
時間内	救急車	交通事故	47	42	59
		その他	2,215	630	1,330
	その他	交通事故	9	2	5
		その他	1,961	130	1,005
時間外	救急車	交通事故	223	32	58
		その他	3,395	498	953
	その他	交通事故	33	8	13
		その他	3,090	1,222	1,074
深 夜	救急車	交通事故	84	5	21
		その他	1,653	187	524
	その他	交通事故	13	2	0
		その他	1,188	174	432
小計	救急車	交通事故	354	79	138
		その他	7,263	1,315	2,807
	その他	交通事故	55	12	18
		その他	6,239	1,526	2,511
合計			13,911	2,932	5,474

イ 科別患者数

(単位:人)

	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	その他	合計
さいたま	2,573	6	387	911	446	1,144	8,444	13,911
小川	1,488	0	256	607	210	0	371	2,932
深谷	1,113	518	373	481	401	178	2,410	5,474

(5) 病院における医療社会活動

ア さいたま赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
母親学級	0	0	0	0	0	
マタニティービクス	0	0	0	0	0	
栄養指導	240	2,553	2,553	0	2,553	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
腎臓病教室	4	7	8	0	8	
乳児検診	136	769	272	136	408	
成人病検診	217	1,741	1,085	781	1,866	
人間ドック(A)	173	212	865	623	1,488	
人間ドック(B)	217	1,253	1,085	781	1,866	
脳ドック	46	84	230	170	400	
主婦検診	130	135	650	468	1,118	
身体検査	217	2,286	1,085	781	1,866	
健康生活支援講習会	1	65	2	0	2	
救急法講習会	0	0	0	0	0	
救護訓練参加	4	185	5	10	15	SMART AB、参集訓練
訪問看護	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	
市民公開講座	0	0	0	0	0	
救護活動	6	12	12	0	12	大宮氷川神社雑踏救護、 COVMAT

イ 小川赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
栄養相談	255	1,156	4	0	4	
糖尿病教室	4		29	0	29	新型コロナウイルスの影響で集合研修の中止あり
生活習慣病予防健診	244	1,045	1,708	0	1,708	
人間ドック	226	1,168	1,582	0	1,582	
脳ドック	79	95	553	0	553	
定期健診	179	749	1,253	0	1,253	
婦人系検診	113	529	791	0	791	
アスベスト健診	0	0	0	0	0	
訪問看護 (訪問リハビリ含む)	264	5,454	1,805	44	1,849	
健康生活支援講習 講習会	0	0	0	0	0	
救急法講習会	0	0	0	0	0	
幼児安全法講習会	0	0	0	0	0	
救護訓練参加	4	34	34	0	34	
救護活動	2	2	2	0	2	大宮氷川神社雑踏救護
患者慰安	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	

ウ 深谷赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
救護活動	8	多数	8	0	8	新型コロナウイルス 対応他
救護訓練参加	5	多数	13	0	13	
救急法講習会	0	0	0	0	0	
健康生活支援講習 講習会	0	0	0	0	0	
幼児安全法講習会	0	0	0	0	0	
患者慰安	3	多数	多数	多数	多数	七夕飾り ハンドベル演奏 高校生、大学生による クリスマスメッセージ等
無料図書貸し出し	243	2	2	0	2	
集団検診	0	0	0	0	0	
外来ドック	243	454	3	2.5	5.5	
成人病予防検査	0	0	0	0	0	
健康診断	243	145	3	2.5	5.5	
栄養相談	236	2,375	6	0	6	
パパ・ママ学級	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス 感染症拡大のため 休止中
乳児健診	50	323	8	0	8	
アレルギー外来	50	1,017	8	0	8	
予防接種	50	534	6	0	6	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	—	0	0	0	新型コロナウイルス 感染症拡大のため、 活動自粛

(6)新型コロナウイルス感染症対応

各赤十字病院は、埼玉県が指定する「重点医療機関」として新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院治療にあたった。県や保健所の要請に基づき、病院の持つ機能に合わせて、重症患者への集中治療や手術対応、中等症患者の入院収容などを行った。

このほか、発熱患者への検査や診療、地域医療従事者へのワクチン接種にあたる等、新型コロナウイルス感染症に対し、日夜対応をしている。

7 社会福祉活動

2つの特別養護老人ホームでは、地域住民やボランティア等の協力を得て施設の運営をしており、災害時における要援護者支援施設として福祉避難所に指定されている。

また、協力病院と連携した健康管理や理学療法士による身体機能維持に努めながら、利用者一人ひとりの個性を尊重し、自立した生活を営めるよう、質の高いサービス提供を心がけた。

(1)運営・処遇方針

ア 小川ひなた荘

隣接する小川赤十字病院との連携により、医療依存度の高い利用者に対しても迅速な対応ができる体制を整え、地域高齢者の福祉向上に努めている。

また、多年にわたり社会の進展に寄与してきた利用者が、心身ともに健康で生き甲斐のある生活をしていただくことを願って赤十字の基本原則に立ち、心の通い合う施設づくりを家族、地域の人々とともに築くことを基本方針としている。

【運営・処遇方針】

- 利用者の人権の尊重と心の通い合う介護の実践
- 利用者、家族への十分な説明と同意によるサービスの提供
- 地域に根ざした透明性のある施設運営

イ 彩華園

平成17年に埼玉県から移管を受けて以来、日本赤十字社が運営を行っており、「利己心と闘い、無関心に陥ることなく、人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。」という精神に基づき、特に下記の3つのケアを重点項目として取り組んでいる。

【運営・処遇方針】

- 認知症ケア
認知症になってもその方らしさが失われることなく生活できるように支援する。
認知症介護実践者研修の受講により研鑽を積み認知症ケアを実践する。また、地域の人に対して、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターを養成する。
- 看取りケア
人生の最後を迎えるにあたり安らかな最期を迎えられるようにご本人やご家族と一緒に看取りケアに取り組む。
- 口腔ケア
できる限り口から美味しく食事がとれるように管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士ほか、多職種で口腔ケアに取り組む。

(2)施設概要

(令和3年3月31日現在)

名称	特別養護老人ホーム 小川ひなた荘	特別養護老人ホーム 彩華園
開設年月日	昭和60年4月	平成17年4月
所在地	比企郡小川町小川1548-1	熊谷市上川上266
電話番号	0493-74-2191	048-524-1391
敷地(延)	5,079㎡	17,555㎡
建物(延)	2,016㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て	5,987㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て
実施事業 ※()内は 定員数	介護老人福祉施設(55人)	介護老人福祉施設(88人) 短期入所生活介護事業(10人) 認知症対応型通所介護事業(12人) 居宅介護支援事業
園長名	松本 功	乾 耕太郎
職員数 ※()内は臨時 職員数再掲	園長 1人 事務員 2人(1人) 生活相談員 1人 介護職員 21人(9人) 看護職 4人(3人) 栄養士 1人 調理員 6人(5人) 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 1人 その他 7人(7人)	園長 1人 事務員 4人(1人) 生活相談員 5人(1人) 介護職員 47人(27人) 看護職 3人(2人) 機能訓練指導員 2人(1人) 栄養士 1人 調理員 委託 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 4人 設備員 1人(1人) その他 4人(4人)

(3)特別養護老人ホーム入所者状況

施設名	小川ひなた荘	彩華園
入退所者数	入所者 14人 退所者 13人	入所者 21人 退所者 20人
平均年齢 (令和3年3月31日現在)	男 性 83.1歳 女 性 85.9歳 平 均 85.1歳	男 性 83.7歳 女 性 85.4歳 平 均 85.1歳
平均介護度 (令和3年3月31日現在)	男 性 4.4 女 性 4.3 平 均 4.4	男 性 3.80 女 性 4.00 平 均 4.00

(4)短期入所生活介護事業(ショートステイ)利用状況

施設名	利用実人数	利用延人数	利用延日数	稼働率
彩華園	年 間 180人 月平均 15.0人	年 間 3,329人 月平均 277.4人	年 間 3,329日 月平均 277.4日	109.6%

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(5)通所介護事業(デイサービス)利用状況

施設名	利用実人数	平均介護度 (令和3年3月31日現在)	利用延人数	1日平均
彩華園	年 間 239人 月平均 19.9人	2.8	年 間 2,849人 月平均 237.4人	9.2人

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(6)居宅介護支援事業所利用状況

施設名	利用延人数	利用サービス延人数	
彩華園	年 間 966人 月平均 80.50人	通所介護	639人
		通所リハビリ	97人
		訪問看護	133人
		訪問入浴	2人
		訪問介護	265人
		訪問リハビリ	0人
		短期入所	113人
		福祉用具貸与	523人

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(7)社会福祉施設の業務改善

埼玉県内の社会福祉施設の経営が厳しい中、安定的な施設運営を目指すうえで小川ひなた荘の事務部門を彩華園に集約を開始したほか、共同購入の協議を重ねている。

8 血液事業

血液事業の推進にあたり、県内に7か所の献血ルームを開設し街頭で献血協力の呼びかけを行っているほか、献血バスを各地へ運行し、安全性の高い輸血用血液を安定的に確保し、医療機関に供給している。

急速な少子高齢化により全国的に献血協力者が減少する中、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり、深刻な献血協力者不足となる事態もあったが、献血の重要性を広く知って頂くため、行政と一体になって日々の献血のご協力を呼び掛けたほか、各種キャンペーンを積極的に展開し、献血者数の増加に努めた。

(1)献血状況及び供給状況

ア 献血状況

献血者数は、目標 235,591 人に対し 240,447 人で、内訳は、200mL 献血 12,943 人(前年比 9 人増)、400mL 献血 157,262 人(前年比 3,201 人増)、成分献血 70,242 人(前年比 7,433 人増)であった。総数では 240,447 人(前年比 10,643 人増)、献血量は 103,611L(前年比 105.6%)であった。

(単位:人)

献血種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
200mL	13,738	12,934	12,943
400mL	154,398	154,061	157,262
成分献血	56,656	62,809	70,242
合計	224,792	229,804	240,447

イ 供給状況

供給数は、200mL 献血由来 12,051 本、400mL 献血由来 182,157 本、成分献血由来 44,504 本であり、前年と比較し、200mL 献血由来 1,628 本減、400mL 献血由来 2,991 本減、成分献血由来 1,021 本増、全体では前年度の 242,310 本に比べ、3,598 本減少の 238,712 本であった。

(2)実施事業

埼玉県赤十字血液センター(以下「血液センター」という。)では、令和2年度の献血計画に基づき、安全性の高い輸血用血液の安定的な確保に努めたほか、次の事業を実施した。

ア キャンペーンの実施

「みんなの献血」[通年]

「高校生献血カード献血推進事業」[通年]

「新社会人応援献血キャンペーン」[4月～6月]

「世界献血者デー」[6月]

彩の国さいたま「愛の血液助け合い運動」[7月～8月]

「初回献血+ラブラッド登録キャンペーン」[10月～11月]

「はたちの献血」キャンペーン[1月～2月]

「シニア60～64初回献血キャンペーン」[1月～3月]

「卒業献血キャンペーン」[2月～4月]

イ イベント等の開催

彩の国さいたま「愛の血液助け合いの集い」[8月](中止)

「クリスマス献血キャンペーン2020」[12月18日:オンラインイベント実施]

「ACTION! 防災・減災・献血」[3月]

ウ その他の取組み

血液に関する出前講座[通年]

献血推進ポスターコンクールの実施[8月]

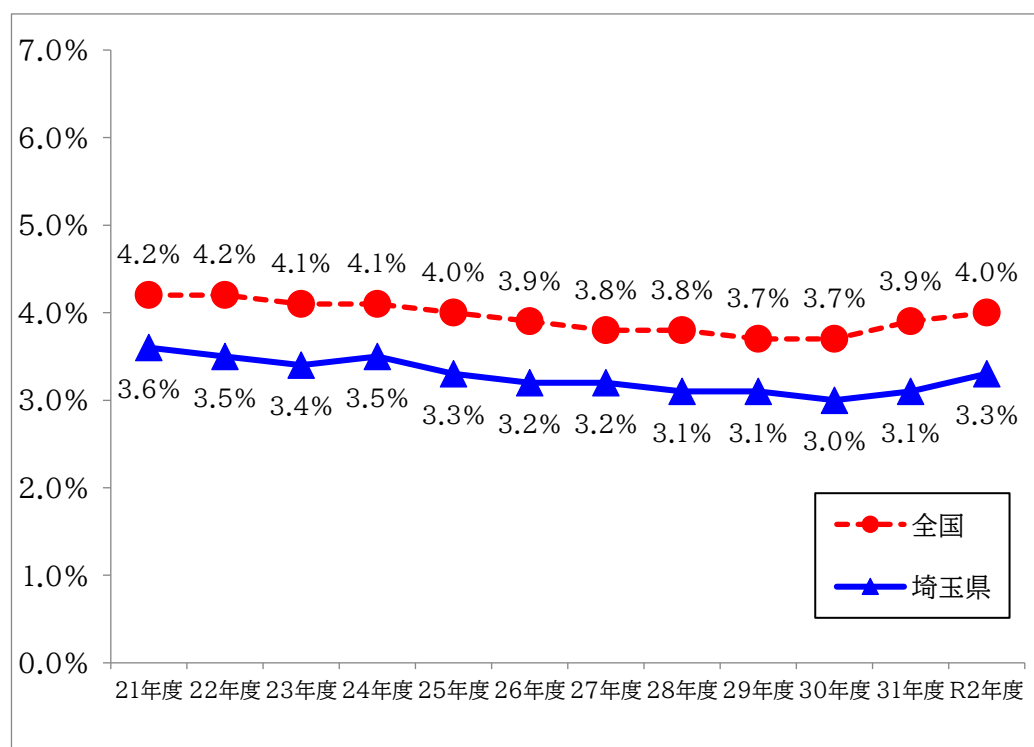
(3)献血状況

ア 令和2年度献血者数

埼玉県			全国		
献血者数	対前年比	献血率	献血者数	対前年比	献血率
240,447人	104.6%	3.3%	5,037,920人	102.3%	4.0%

※献血率…1年間の献血者数を総人口で割ったもの

イ 献血率の推移



ウ 献血者数・献血率

献血者数				対前年比 伸び率	献血率	献血目標数	目標達成率
240,447人				104.6%	3.3%	235,591人	102.1%
内 訳	200mL	12,943人	5.4%				
	400mL	157,262人	65.4%				
	成分	70,242人	29.2%				

エ 受入施設別献血者数

種 別	血液センター		移動採血		献血ルーム		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
200mL	-	-	7,379人	57.0%	5,564人	43.0%	12,943人	5.4%
400mL	-	-	64,254人	40.9%	93,008人	59.1%	157,262人	65.4%
成分	-	-	0人	0.0%	70,242人	100.0%	70,242人	29.2%
合計	-	-	71,633人	29.8%	168,814人	70.2%	240,447人	100.0%

※血液センターでの献血の実施はなかった。

オ 受入施設別平均献血者数

受入施設名	献血者数 A	施設(台)数 B	1施設(台)	稼働日	1日(台)
			平均献血数	(台)数	平均献血者数
			A/B	C	A/C
血液センター	-	-	-	-	-
移動採血車	71,633人	10	7,163.3人	1,730	41.4人
献血ルーム	168,814人	7	24,116.3人	2,415	69.9人

※血液センターでの献血の実施はなかった。

カ 献血ルームの献血状況

区分	献血者数(人)				稼働 日数	1日平均献血者数(人)			
	200mL	400mL	成分	計		200mL	400mL	成分	計
所沢 献血ルーム	388	8,029	10,404	18,821	354	1.1	22.7	29.4	53.2
川越 献血ルーム	1,475	13,770	11,398	26,643	365	4.0	37.7	31.2	73.0
鴻巣 献血ルーム	1,113	13,677	0	14,790	294	3.8	46.5	0.0	50.3
大宮献血ルーム ウエスト	1,391	23,492	24,336	49,219	365	3.8	64.4	66.7	134.8
越谷 献血ルーム	763	16,362	10,360	27,485	363	2.1	45.1	28.5	75.7
熊谷駅 献血ルーム	151	5,960	5,128	11,239	312	0.5	19.1	16.4	36.0
川口駅 献血ルーム	283	11,718	8,616	20,617	362	0.8	32.4	23.8	57.0

キ 年齢・性別・献血者数

(単位:人)

種別	性別	年代						
		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
200mL	男	1,424	89	62	54	94	64	1787
	女	3,052	2,150	1,203	1,841	2,036	874	11,156
	計	4,476	2,239	1,265	1,895	2,130	938	12,943
400mL	男	3,990	15,317	18,171	32,601	31,843	12,270	114,192
	女	1,470	8,245	6,883	10,958	11,736	3,778	43,070
	計	5,460	23,562	25,054	43,559	43,579	16,048	157,262
成分	男	396	3,463	6,929	15,890	17,502	7,270	51,450
	女	296	2,566	3,378	5,723	5,159	1,670	18,792
	計	692	6,029	10,307	21,613	22,661	8,940	70,242
合計	男	5,810	18,869	25,162	48,545	49,439	19,604	167,429
	女	4,818	12,961	11,464	18,522	18,931	6,322	73,018
	計	10,628	31,830	36,626	67,067	68,370	25,926	240,447

9 国際活動

世界的な人道支援団体である赤十字社の一員として、武力紛争、難民問題、自然災害など世界各地で起こる危機に対し、赤十字国際委員会(ICRC)や国際赤十字・赤新月社連盟の調整の下、緊急救援から長期にわたる人道支援まで多岐にわたる活動に積極的に取り組んでいる。

当支部では、東アジア地域において積極的な交流事業を実施しており、青少年やボランティアの育成等に努めた。

(1)国際救援・開発協力事業

- ア 北関東四県(埼玉・茨城・栃木・群馬)支部共同支援事業。
 - ・バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業への支援
- イ NHK海外たすけあいキャンペーンを実施。[12月1日～25日]

(2)国際交流・派遣事業

- ア 大韓赤十字社京畿道支社との交流事業。[9月23日～26日] 中止

※毎年実施している大韓赤十字社京畿道支社をはじめとした各国赤十字社との交流事業は、新型コロナウイルス感染症による渡航制限により中止とした。

(3)消息不明者の安否調査への協力

本社(国際部)からの依頼は0件。

10 看護師養成

令和2年4月に日本赤十字看護大学の大宮キャンパスとして開設された、日本赤十字看護大学さいたま看護学部(運営:学校法人日本赤十字学園)では、日本赤十字社の使命である救援・救護活動を実効的に展開できる看護師を養成している。今後の医療環境を見通し、未来に向けてリーダーとして役割が果たせる人材育成を目指しており、この運営協力のため、講師派遣及び資金助成(10,000,000円)を行った。

11 赤十字思想の普及、広報活動の充実

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等の開催に大きな制約があったが、このような状況下にあっても赤十字の理念や活動について、広く県民の理解・協力をいただくために、オンラインツールを活用した新たな広報活動に努めた。

(1) キャンペーン、イベント、式典等の開催・参加

ア レイクタウンアクトグリーンエコウィーク2020（防災フェス特別版）への参加

〔9月26日～27日：イオンレイクタウン（越谷市）〕

越谷市、イオンレイクタウンなどが主催するアクトグリーンエコウィーク（防災フェス特別版）に参加し、救援車や救援物資の展示、新型コロナウイルス感染症に関する啓発動画の放送、赤十字事業紹介パネル・災害パネルの展示、募金活動や赤十字事業紹介リーフレット等の配布を行った。

イ 防災フェアへの参加〔9月12日～13日：ピオニウォーク東松山（東松山市）〕

血液センターによる献血実施と併せて、災害救護活動時の写真や赤十字救援物資等の展示のほか、コロナ禍における一次救命処置手順・留意点の紹介、赤十字事業紹介リーフレットを配布した。

ウ 支部職員派遣による講演

倫理法人会、ロータリークラブの会員向けに、新型コロナウイルス感染症対応や災害救護活動を始めとする赤十字事業に関する講演を行った。

- さいたま新都心倫理法人会 9月1日（火）
- さいたま市大宮区倫理法人会 10月2日（金）
- 大宮南ロータリークラブ 11月19日（木）
- 鴻巣北本倫理法人会 12月17日（木）

エ 例年実施している以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

- 赤十字運動月間における街頭PR活動〔5月：浦和駅〕
- 赤十字ふれあい広場〔5月：イオンモール羽生（羽生市）〕
- レイクタウン防災フェスへの参加〔5月23日～24日：イオンレイクタウン（越谷市）〕
- 赤十字PR活動（一日赤十字）〔7月～11月：イベント開催地各所〕
- 赤十字フェス2020in 浦和～そなえる！まもる！防災フェス～
〔11月3日：埼玉県支部（さいたま市浦和区）〕
- 浦和区民まつり2020への参加〔11月3日：浦和駅周辺（さくら草通り）〕

オ 第63回殉職救護員追悼式の開催〔11月4日：埼玉県支部〕

先の大戦（第2次世界大戦）において殉職された32名の赤十字救護員の御霊に対し、ご遺族、関係者の計28人が出席して、日本赤十字社看護師同方会埼玉県支部との共催で追悼式を開催した。

カ 戦後75年 戦時救護班史料展の開催[11月4日～12月4日：埼玉県支部]

日中戦争から第2次世界大戦の間に、埼玉県支部から派遣された救護員に焦点をあて、戦争の悲惨さと平和の大切さを考える史料展を開催した。当時を振り返ったインタビュー映像の放映、遺された救護服や医療セット等の装備品、派遣命令文書等の現物を展示し、埼玉県支部長をはじめとし、赤十字関係者など多くの皆さまにご来場いただいた。初日は殉職救護員追悼式を開催し、インタビューにもご協力いただいた川田春枝氏（第348班救護員）にも来場いただいた。

キ 令和2年度紺綬褒章・厚生労働大臣感謝状及び日本赤十字社社長感謝状伝達式
[11月18日：知事公館]

赤十字事業の進展に多大の貢献をされた方々に対し、そのご功労を称え、感謝の意を表するため伝達式を開催した。受章（賞）者：個人・法人・団体計37件（当日出席計35件）

(2) テレビ・新聞等による広報

赤十字会員増強運動月間や防災啓発などを中心に、テレビでスポットCMを以下のとおり放送した。地元新聞紙をはじめ、市町村広報紙に事業の紹介を掲載した。

広報媒体	回数等	備 考
テレビ埼玉	30回	5月 15秒：30回
埼玉新聞	2回	5月、9月

また、渋沢栄一が関係した現存企業・団体を紹介するテレビ番組「シブサワ解体深書（テレビ玉：毎週木曜日19時～放送中）」の撮影協力として、赤十字事業の紹介をした。

(3) 印刷物等の広報資材の作製、配布

名称	作製目的・主な内容	主な配布(視聴)対象
活動資金募集用チラシ (各戸配布用・自治会、町内会回覧用)	赤十字活動のPRと会員募集 (1,167,500部)	一般、地区・分区
振込用紙付きリーフレット	赤十字活動のPRと会員募集 (60,000部)	一般
活動紹介用パンフレット 「赤十字のしくみと活動」	赤十字活動のPRと会員募集 (400部) ※本社作製	一般、地区・分区、 赤十字職員
赤十字運動PRポスター	赤十字活動のPRと会員募集 (16,500枚) ※本社作製	地区・分区、管内施設他
プチタオル	イベント時のAED当体験者に配布 (作製500枚)	一般
クリアファイル	イベント配布 (作製1,000枚)	一般
日赤さいたま	埼玉県支部広報誌 34,000部（年2回発行 8月、3月）	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、赤十字職 員、地区・分区他
赤十字NEWS	日本赤十字社広報紙 (50,000部) ※本社作製	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、地区・分区、 地域奉仕団委員長他
令和元年度事業報告書	支部事業報告書 (600部)	一般、支部役員・評議員、 地区・分区、管内施設他
令和元年度事業概要	支部事業報告書（詳細版） (PDFのみ作製)	地区・分区、管内施設他
活動紹介DVD	日本赤十字社活動紹介DVD	地区・分区、管内施設他

	「赤十字この一年 2020年度」 (90本複製) ※本社作製	※関係先へ貸出可能
支部紹介パンフレット 「埼玉の赤十字」	赤十字活動のPRと会員募集 (54,000部)	一般、地区・分区
赤十字活動紹介DVD	令和2年7月豪雨災害救護活動、 新型コロナウイルス感染症に関する活動 ※本社作製	地区・分区、一般

その他広報資料の配布：

- ア 埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血ルームや献血バスにおける献血協力者に、赤十字事紹介リーフレットを配布した。
- イ 赤十字講習受講者に、赤十字事業紹介リーフレットを配布した。
- ウ 領収書発送時に、「新型コロナウイルス感染症対応」や「令和2年7月豪雨災害救護活動報告」などを同封し、赤十字活動の周知に努めた。
- エ 遺贈・相続財産寄付に関する資料請求者に対し、「遺贈・相続財産寄付ご案内パンフレット」を送付するとともに、「赤十字NEWS」や「日赤さいたま」、各種活動報告等を同封した。
- オ 地区分区を通じて、各自治会・町会に「赤十字活動報告チラシ」を配布・掲示し、赤十字の活動資金に協力いただいている方々に対し、赤十字活動の報告を行った。
- カ 令和2年度「NHK海外たすけあい」に際し、さいたま放送局における寄付協力者に対して赤十字国際活動（紛争等による避難民への支援や保健医療衛生向上のための活動など）の紹介リーフレットを送付した。

(4)YouTube チャンネルの開設

インターネット上の動画配信サービス「YouTube」に埼玉県支部のチャンネルを開設し、事業を紹介する動画を制作・配信、世界中の方に当支部の事業を周知できる広報媒体を整えた。

(5)その他の広報

ア 支部ホームページ

当支部をはじめとする日本赤十字社の活動紹介、新型コロナウイルス感染症に関する啓発活動、救急法等の健康・安全講習の開催日程等、詳細な内容をより迅速に提供することに努めた。

イ 支部FacebookページによるPR

災害対応やイベントの告知、実施事業の報告などを支部公式Facebookで発信した。

ウ マスメディアへの広報

年間を通じて報道関係機関にプレスリリースを行うとともに、行事の取材を依頼した。リリース件数は9件、報道機関からの露出はテレビ3件、新聞7件、WEB5件。

リリース内容	報道機関名	報道媒体等
6/29 着衣泳動画撮影	テレビ埼玉	テレビ・WEB
	埼玉新聞社	新聞
	大宮（浦和）経済新聞	WEB
	東京（中日）新聞	WEB
7/10 新型コロナ出前授業（川口西中）	埼玉新聞社	新聞
	東京（中日）新聞	新聞
	読売新聞	新聞
8/20 新型コロナ出前授業（上尾西中）	取材なし	
10/1 義援金受領（市立浦和高校）	埼玉新聞社	新聞
	読売新聞	新聞
10/7 防災出前授業（三芳町竹間沢小）	取材なし	
10/15 新型コロナ出前授業（嵐山幼稚園）	取材なし	
11/4 殉職救護員追悼式 戦時救護班史料展	日本放送協会（NHK）	テレビ
	テレビ埼玉	テレビ・WEB
	埼玉新聞社	新聞
	東京（中日）新聞	WEB
3/4 活動資金受領（川越市立霞ヶ関小）	取材なし	
3/12 防災体験活動（和光市立下新倉小）	取材なし	

エ 地区・分区にて懸垂幕を掲げPRを行った。〔5月〕

オ 年間を通じて、市町村及び防災関係機関等が主催するイベント、防災訓練等に参加し、災害救護活動パネルや救援物資等の展示、各種広報資材の配布等を行い、赤十字思想の普及啓発に努めた。

カ 赤十字会員増強運動地区・分区会議等に支部職員の派遣を行った。

キ 県内法人等に向け活動資金用募金箱の設置を推進し、計28個の募金箱を新規に設置した。

ク 赤十字支援型自動販売機設置の推進

コカ・コーラジャパン株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、アサヒ飲料販売株式会社、株式会社ジャパンビバレッジホールディングス、株式会社伊藤園、FVジャパン株式会社、株式会社八洋、株式会社ユニマツライフ、サントリービバレッジサービス株式会社、ダイドードリンコ株式会社、及び北関東ペプシコーラ販売株式会社の協力を得て普及を推進し、延べ92台（新規3台）の設置となった。

（令和2年度実績額 1,843,738円）

※赤十字支援型自動販売機：売上の一部を赤十字活動資金として寄付するシステム

ケ リサイクル寄付「きしゃぼん」の普及・推進

不要になった本や貴金属、ゲームなどの買い取り額が赤十字活動資金となる「きしゃぼん」を、地区・分区や有功会員等に周知し、寄付方法の周知に努めた。

12 会員増強運動

令和2年度の支部事業の財源となる「会員の増強」及び「活動資金の増収」については、5月を強化月間として、「赤十字会員増強運動」を展開し、その拡大・充実に努めた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、増強運動の実施時期については各市区町村の感染状況等を考慮しながら進めることとなり、募集方法などについての変更も行われた。

地区長・分区長をはじめ、事務委員等関係職員、協賛委員、自治会・町内会の役員、赤十字奉仕団、日本赤十字社埼玉県有功会等の積極的な協力に支えられ、実施することができた。

(1)活動資金募集実績

令和2年度は、一般社資523,000,000円、法人社資35,000,000円、合計558,000,000円を目標額として、この達成に努力した結果、収納実績額634,582,862円、達成率113.7%となった。

〔令和3年3月31日現在()内昨年度比較〕

種別		目標額	実績額	達成率
一般	市地区	391,689,100円 (391,689,100)	304,485,764円 (332,672,008)	77.7% (84.9%)
	(郡)地区	28,310,900円 (28,310,900)	35,248,421円 (36,829,840)	124.5% (130.0%)
	特別活動資金 (個人・団体)	114,000,000円 (103,000,000)	214,218,022円 (135,288,496)	187.9% (131.4%)
	小計	534,000,000円 (523,000,000)	553,952,207円 (504,790,344)	103.7% (96.5%)
法人		24,000,000円 (35,000,000)	80,630,655円 (63,339,672)	335.9% (180.7%)
合計		558,000,000円 (558,000,000)	634,582,862円 (568,130,016)	113.7% (101.8)

(2) 会員数伸長状況(過去5年間)

(単位:人・社)

区分 年度	会員数(2,000円以上)		協力会員数 (500円以上 2,000円未満)	
	個人・団体	法人	個人・団体	法人
令和2年度	5,991	2,184	125,810	326
令和元年度	4,125	2,106	151,173	582
平成30年度	3,488	1,759	143,447	847
平成29年度	6,333	2,116	146,093	892

※平成29年度からの会員制度変更に伴い集計方法が変更となったため、平成28年度以前の表は参考として以下に示す。

(参考)

(単位:人)

区分 年度	在籍社員数	一般社資内訳		納入社員数
		500円以上 1,000円未満	1,000円以上	
平成28年度	185,402	176,839	8,563	185,402

※1 平成24年度から自治会単位の集計方法を把握可能な自治会内訳戸数へ変更したこと。

※2 上記集計方法(※1)には、寄付者が混在していることから、平成25年度から従前の地区・分区からの実績報告をもとにした集計方法に修正したこと。

※3 平成29年度から会員制度が変更となったことから集計方法が変更となったこと。

(3) 活動資金募集実績額伸長状況(過去5年間)

項目 年度	自治会・町会等		特別社資(個人・団体・法人)		合計	
	金額	伸長率	金額	伸長率	金額	伸長率
令和2年度	339,734,185円	91.9%	294,848,677円	148.4%	634,582,862円	111.6%
令和元年度	369,501,848円	98.3%	198,628,168円	65.8%	568,130,016円	83.8%
平成30年度	375,559,615円	97.9%	301,627,741円	89.7%	677,187,356円	94.0%
平成29年度	383,593,699円	97.2%	336,446,732円	141.4%	720,040,431円	113.8%
平成28年度	394,632,808円	98.4%	237,912,791円	55.2%	632,545,599円	76.1%

(4) 指定事業活動資金・特定寄付金

区分		目標額	実績額	達成率	件数
個人	指定事業活動資金	32,500,000円	32,500,000円	100.0%	150件
法人		20,000,000円	20,000,000円	100.0%	80件
合計		52,500,000円	52,500,000円	100.0%	230件

(5)指定事業活動資金による事業

ア 個人指定事業社資

総務大臣の承認を得て行う個人に対する「指定事業社資」の募集は、150件32,500,000円（上記（４）参照）の成果をあげた。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額	使途内訳	金額
災害救護設備の整備	14,850,000円	災害救護物資の整備	5,700,000円
採血受入機関の整備	0円	救急医療体制の整備	10,000,000円
支部国際活動基金積立金	0円	募集事務費	1,950,000円

イ 法人指定事業社資

財務大臣の承認を得て行う特別事業の財源であり、法人(会社等)に対する「指定事業社資」の募集は、80件 20,000,000円（上記（４）参照）の成果をあげ、事業計画のとおり実施することができた。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額
災害救護設備の整備	18,800,000円
募集事務費	1,200,000円

(6)地区・分区担当職員を対象とした研修会等の開催

ア 地区・分区新任事務委員研修会〔4月17日：支部〕【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、支部での開催は中止し、資料の送付を行った。

送付内容

- （１）地区・分区への依頼事項等
- （２）令和2年度事業計画書
- （３）令和2年度赤十字会員増強運動実施資料
- （４）赤十字事業に関する資料〔赤十字担当職員の手引き（全改訂、補足資料含む）、赤十字この一年（DVD）、赤十字のしくみと活動（冊子）〕

イ 地区・分区事務担当者研修会〔10月：支部〕【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、支部での開催は中止し、資料の送付を行った。

送付内容

- （１）埼玉県支部活動報告
 - ・日本赤十字社埼玉県支部からの情報提供概要
 - ・令和2年度救護事業に関する中間報告
 - ・令和2年度活動資金進捗状況
 - ・令和2年7月豪雨災害救護活動報告
- （２）赤十字Q&A集 よくあるご質問（別添資料含む）
- （３）活動資金使途説明用チラシ
- （４）その他事務連絡等

ウ 地区・分区業務主管課長会議 [1月：支部] 【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、支部での開催は中止し、資料の送付を行った。

送付内容

- (1) 令和2年度支部事業実施状況
- (2) 令和2年度活動資金募集状況
- (3) 令和3年度支部事業計画及び予算（案）
- (4) 令和3年度会員増強運動活動資金募集目標額（案）
- (5) 連絡事項
- (6) アンケート調査

(7)赤十字会員増強運動地区会議(説明会)への職員派遣（計3地区、4会場）

地区名	行事名	会場	派遣 職員数
さいたま市 (自治会連合会)	さいたま市自治会連合会理事会	大宮区役所 6階会議室	1人
ふじみ野市	令和2年度日本赤十字社会員増強運動説明会	ふじみ野市役所 大井総合福祉センター	中止 中止
草加市	令和2年度日本赤十字社活動資金募集説明会	草加市高砂コミュニティセンター	1人
越谷市	令和2年度赤十字会員増強運動説明会	越谷市中央市民会館	中止
志木市	令和2年度志木市地区協賛委員会	志木市役所	中止
川越市	令和2年度日本赤十字社会員増強運動打ち合わせ会議	川越市保健所	中止
南区	令和2年度さいたま市南区地区運営協議会	南区役所	中止
八潮市	令和2年度赤十字会員増強運動説明会	八潮メセナ	中止
熊谷市	令和2年度赤十字会員増強運動会議	熊谷市緑化センター	中止
羽生市	羽生市社会福祉協議会支部長会議	羽生市役所	中止
深谷市	令和2年度深谷市地区運営協議会	深谷市ボランティア交流センター	1人
	令和2年度赤十字活動資金募集会議	深谷公民館	1人
蓮田市	令和2年度日赤会員増強運動説明会	蓮田市役所	中止
東松山市	令和2年度東松山市行政パートナー全体会議	松山市民活動センター	中止
見沼区	令和2年度さいたま市見沼区地区運営協議会	見沼区役所	中止
春日部市	令和2年度日本赤十字社会費説明会	庄和市民センター	中止
新座市	令和2年度日赤新座市協賛委員会総会	新座市役所	中止
所沢市	令和2年度赤十字会員増強運動(活動資金募集)説明会	こどもと福祉の未来館	中止
	令和2年度松井自治連合会総会	松井まちづくりセンター	中止
	令和2年度富岡自治連合会	富岡まちづくりセンター	中止
和光市	令和2年度日本赤十字社埼玉県支部事業資金募集説明会	和光市福祉総合会館	中止
狭山市	令和2年度赤十字会員増強運動事業説明会	狭山市役所	中止

(8)活動資金確保対策検討会の開催

平成30年11月に発足し、令和2年度においても引き続き開催。対策を「A地区・分区強化」「B法人強化」「C個人強化」「D広報その他」と分類し、会議実施とともにより具体的に施策を実施した。

[課題及び実施状況]

ア 地区・分区強化対策

【課題】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①寄付者離れ防止 | ②達成率の低い地区・分区へのサポート |
| ③地区・分区及び地域との連携を図る | ④地区・分区との顔の見える関係の構築 |

【実施状況】

- ・県民への広報アプローチ(地区分区における赤十字事業紹介リーフレットや広報チラシの配付)
- ・和光市内へにおけるタウンプラス(宛名不要DM)の活用
(令和3年3月に、和光市新倉1丁目・2丁目、和光市下新倉1丁目に計1,500送付)
- ・大京アステージとのタイアップ講習

イ 法人強化対策

【課題】

- ①SDGsを通しての活動資金確保
- ②企業向けの効果的なダイレクトメール

【実施状況】

- ・埼玉県SDGs官民連携プラットフォームとの連携を検討
- ・埼玉県SDGsパートナーに登録
- ・業界・業種を選定したダイレクトメールの送付

ウ 個人強化対策

【課題】

- | | |
|--------------|------------------|
| ①遺贈の強化 | ②講習合格者への対応 |
| ③大口寄付者の獲得 | ④若年層への対応 |
| ⑤常連寄付者への対応 | ⑥既存ファンを持つ企業とのコラボ |
| ⑦支部管内の施設との連携 | ⑧使途指定寄付金の募集 |

【実施状況】

- ・大宮アルディージャへの打診

エ 広報その他対策

【課題】

- | | |
|--------------|------------|
| ①広報誌に振込用紙の同封 | ②支部HPの内容充実 |
| ③他企業とのタイアップ | ④社内広報の強化 |
| ⑤広報活動の充実 | |

【実施状況】

- | | |
|------------------|---------------|
| ・広報誌等振込用紙の応諾率の分析 | ・武蔵野銀行での写真展実施 |
|------------------|---------------|

(9)その他

ア 遺言者の遺志による遺贈

遺贈	0件	0円
----	----	----

イ その他の社資募集

銀行口座自動振替	17,914,500円
クレジットカード	28,347,449円

13 日本赤十字社埼玉県有功会

日本赤十字社埼玉県有功会は、昭和47年5月に結成され、現在408人（令和3年3月31日現在）の会員を擁し、会員相互の親睦を図るとともに、各般にわたる支部事業推進の基盤となる財政面での支援を行っている。

令和2年度に実施した事業は次のとおりである。

(1) 特別活動資金募集に対する協力(過去5年間)

年度 \ 項目	件数	金額
令和2年度	289件	28,522,741円
令和元年度	299件	32,740,226円
平成30年度	245件	40,904,079円
平成29年度	390件	36,227,273円
平成28年度	278件	25,897,433円

※使途指定寄付を含む。

(2) 事業等

ア 常任委員会（文書審議）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文書審議にて実施した。

- 内 容： （１）令和元年度事業報告及び収支決算報告について
（２）令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
（３）令和2・3年度埼玉県有功会役員改選（案）について

イ 総会〔令和2年7月2日：ホテルブリランテ武蔵野（さいたま市中央区）〕【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、会員あてに資料を郵送した。
なお、講演会については12月に延期し、感染対策を行い実施した（後述）。

内 容： <第1部> 総会

- （１）令和元年度事業報告及び収支決算報告について
（２）令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

<第2部> 講演

講演者 渋沢史料館 館長 井上 潤

演 題 「渋沢栄一翁を語る～2021年大河ドラマ『青天を衝け』をより楽しく～」

ウ 新春のつどい〔1月21日：ホテルブリランテ武蔵野〕【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。なお、有功会員の親睦を深めるための交流事業が実施できていないことから、「有功会員交流誌」の作成を行う（後述）。

内 容： <第1部> アトラクション マジックショー（マジシャンペー）

<第2部> 懇親会

エ 令和2年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会〔10月1日～2日：三重県伊勢市〕【文書審議】

オ 令和2年度有功会国内日帰り旅行

〔10月8日：ひたち海浜公園と那珂湊で海の幸&明太パーク(復興支援ツアー)〕(茨城県)【中止】

カ 第40回埼玉県有功会海外親善訪問〔9月14日～19日：ノルウェー赤十字社他〕【中止】

キ 講演会「渋沢栄一翁を語る～2021年大河ドラマ『青天を衝け』をより楽しく～」〔令和2年12月10日：埼玉県支部〕

総会で行う予定だった講演会を、コロナ対策を行った上で支部にて開催。なお、参加できなかった会員のために、講演録を作成し会員に配付する。

ク 有功会交流誌の作成

新型コロナウイルス感染症の影響により、総会、旅行、新春のつどいを始めとする交流の機会が失われていることから、会員の趣味や特技を披露いただき、親睦を図るための交流誌の作成を行う。

ケ 殉職救護員追悼式への供花

コ 令和2年度「NHK海外たすけあい」への協力

サ 慶弔

叙勲褒章受章者への記念品の贈呈、他界された方々の遺徳を偲び、霊前に弔意を表した。

(3)組織等

ア 主な役員(令和3年3月31日現在)

会長	欠	
副会長	西島 昭三	田中 憲次郎
会計	中村 昭作	杉田 政男
監事	関根 宏	小野寺 貫一
幹事	伊東 弘道	

他常任委員10名

イ 支会

(令和3年3月31日現在)

支会名	結成年月日	会員数	支会名	結成年月日	会員数
所沢市支会	S53.3.13	休会中	蕨市支会	S53.3.31	休会中
秩父市支会	S53.4.17	休会中	川口市支会	S53.7.14	75人
上尾市支会	S54.3.17	39人	東松山市支会	S54.6.12	休会中
深谷市支会	S59.4. 1	58人			

14 評議員会

(1) 評議員会の開催

令和2年度評議員会を次のとおり実施した。

ア 第1回[令和2年7月8日:文書審議]

第1号議案 令和元年度 日本赤十字社埼玉県支部事業報告及び一般会計歳入歳出決算に関する件

第2号議案 令和元年度 医療施設特別会計歳入歳出決算に関する件

[さいたま・小川・深谷各赤十字病院]

第3号議案 令和元年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出決算に関する件

[特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園]

第4号議案 副支部長の退任に伴う選任に関する件

第5号議案 日本赤十字社代議員の退任に伴う選任に関する件

イ 第2回[令和3年2月22日:文書審議]

第1号議案 令和3年度 日本赤十字社埼玉県支部事業計画(案)及び一般会計歳入歳出予算(案)

第2号議案 令和3年度 医療施設特別会計歳入歳出予算(案)

[さいたま・小川・深谷各赤十字病院]

第3号議案 令和3年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算(案)

[特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園]

第4号議案 日本赤十字社代議員の選出について

Ⅱ 会計報告

1 一般会計

(1)一般会計歳入歳出決算書

ア 埼玉県支部

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
社資収入	634,582,862円	災害救護事業費	69,466,141円
委託金等収入	6,652,332	社会活動費	83,009,489
補助金及び交付金収入	3,422,009	国際活動費	1,000,000
災害義援金預り金収入	0	指定事業地方振興費	32,500,000
繰入金収入	27,652,667	地区分区交付金支出	57,077,220
資産収入	0	社業振興費	73,233,173
雑収入	1,319,102	基盤整備交付金・補助金支出	93,342,846
前年度繰越金	70,835,866	積立金支出	19,884,272
		総務管理費	104,041,825
		資産取得及び資産管理費	7,145,459
		本社送納金支出	87,312,429
歳入合計	744,464,838	歳出合計	628,012,854
		歳入歳出差引残額 (翌年度繰越金)	116,451,984

※ 一般会計歳入歳出決算補足

令和元年東日本台風災害義援金の受入及び埼玉県配分委員会への送金終了により、歳入歳出とも昨年度より減となった。

2 特別会計

(1)医療施設特別会計歳入歳出決算書

ア さいたま赤十字病院

(ア)収益的收入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	27,056,497,485円	医業費用	27,740,398,465円
医業外収益	2,906,886,442	医業外費用	206,382,440
医療社会事業収益	265,000	医療奉仕費用	222,191,843
付帯事業収益	0	付帯事業費用	0
特別利益	32,214,564	特別損失	22,810,666
		法人税等	18,101,210
計	29,995,863,491	計	28,209,884,624
収入支出差引額	1,785,978,867		

(イ)資本的收入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	233,851,546円	固定資産	636,834,720円
資産売却収入	0	借入金等償還	0
その他資本収入	402,983,174		
計	636,834,720	計	636,834,720
収入支出差引額	0		

イ 小川赤十字病院

(ア)収益的收入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	5,526,255,680円	医業費用	5,752,184,159円
医業外収益	1,233,201,053	医業外費用	13,937,357
医療社会事業収益	0	医療奉仕費用	116,501,225
付帯事業収益	51,965,379	付帯事業費用	63,164,220
特別利益	1,137,313	特別損失	82,104,646
		法人税等	0
計	6,812,559,425	計	6,027,891,607
収入支出差引額	784,667,818		

(イ)資本的收入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	87,191,075円	固定資産	122,388,847円
資産売却収入	0	借入金等償還	91,708,924
その他資本収入	126,906,696		
計	214,097,771	計	214,097,771
収入支出差引額	0		

ウ 深谷赤十字病院

(ア)収益的收入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	12,235,861,491円	医業費用	12,840,217,518円
医業外収益	1,813,361,578	医業外費用	33,910,532
医療社会事業収益	1,737,692	医療奉仕費用	152,647,089
付帯事業収益	44,730,401	付帯事業費用	54,844,444
特別利益	82,094	特別損失	2,967,858
		法人税等	29,826
計	14,095,773,256	計	13,084,617,267
収入支出差引額	1,011,155,989		

(イ)資本的收入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	178,241,546円	固定資産	355,778,060円
資産売却収入	0	借入金等償還	355,200,559
その他資本収入	532,737,073		
計	710,978,619	計	710,978,619
収入支出差引額	0		

※ 医療施設特別会計歳入歳出決算補足

医療施設の中心的な収入である「医業収益」は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどにより入院者及び外来者とも減少し、減収となったが、重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の治療にあたるなど関連する補助金の受入により、歳入歳出差引額ではプラスとなった。

(2)社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

ア 特別養護老人ホーム小川ひなた荘

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	224,575,415円	人件費支出	188,984,820円
経常経費寄附金収入	404,960	事業費支出	40,646,056
その他の収入	71,044	事務費支出	18,894,052
		その他の支出	1,260
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
	0	固定資産取得支出	4,162,950
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
他会計繰入金収入	8,874,748	その他の活動による支出	7,397,785
その他の活動による収入	23,621,250		
前期末支払資金残高	65,426,709		
計	322,974,126	計	260,086,923
収入支出差引額	62,887,203		

・施設修繕費等として5,000,000円を埼玉県支部から助成。

イ 特別養護老人ホーム彩華園

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	461,215,279円	人件費支出	331,131,575円
経常経費寄附金収入	1,920,836	事業費支出	61,659,791
その他の収入	770,709	事務費支出	70,968,047
		支払利息支出	108,601
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
固定資産売却収入	100,000	固定資産取得支出	4,458,303
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,211,751
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
他会計繰入金収入	21,831,814	その他の活動による支出	13,396,786
その他の活動による収入	8,685,576		
前期末支払資金残高	108,070,084		
計	602,594,298	計	484,934,854
収入支出差引額	117,659,444		

・施設修繕費等として17,881,233円を埼玉県支部から助成。

※ 社会福祉施設特別会計決算補足

社会福祉施設の中心的な収入である「介護保険事業収入」は新型コロナウイルス感染症の影響により、ショートステイやデイサービス事業の新規利用を見合わせたことにより減収となった。

一方、入所者・退所者の減少により施設稼働率が上がり、昨年度よりも増収となった。

3 会計監査

令和元年度支部及び施設決算の会計監査は、支部監査委員(2名)により6月1日～8日を期間とし書面監査を行った。

Ⅲ 資 料

1 埼玉県支部役職員名簿

(1) 支部役職員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
支部長	大野 元裕	埼玉県知事
副支部長	富岡 清 石木戸 道也 山崎 達也	埼玉県市長会会長・熊谷市長 埼玉県町村会会長・皆野町長 埼玉県福祉部長
監査委員	西島 昭三 小山 彰	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長 公認会計士
参与	西村 朗 岸田 正寿 坂 行正 芦村 達也	埼玉県福祉部福祉政策課長 埼玉県福祉部高齢者福祉課長 埼玉県保健医療部医療整備課長 埼玉県保健医療部薬務課長

(2) 支部職員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
事務局長	伊東 弘道	事務局統括業務
事務局次長	大地山 正明	事務局長補佐
総務部	総務部長	*次長兼務 総務部統括
	総務課長	評議員会、儀式及び弔意、情報公開、人事労務、職員研修、赤十字標章、広報宣伝
	企画財務課長	事業計画(中期・単年度)、事業報告、出納事務、不動産・物品管理、活動資金・寄付金・義援金の出納、医療事業、血液事業、社会福祉施設事業、看護師養成事業、施設監査
事業部	事業部長	手島 右踏 事業部統括
	振興課長	平野 裕明 会員募集、活動資金募集、会員管理、有功会、一日赤十字、国内外義援金取扱
	奉仕・青少年課長	田沼 憲一 赤十字奉仕団、個人ボランティア、青少年赤十字、青少年等国際交流、社会福祉事業、国際活動
	救護・講習課長	永瀬 公彦 災害救護、救援物資、防災ボランティア、安否調査、安全講習事業、保健指導、臨時救護
	参事	村山 卓也 災害対応能力強化のための体制整備、関係機関との連携強化、救護関係の各種マニュアル整備、災害時受援体制の構築、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への支援

(3) 本社代議員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
代議員	西島 昭三 中村 昭作 田中憲次郎 関根 宏 関根 正昌 利根 忠博	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長 新座市社会福祉協議会顧問 会社役員 会社役員 会社役員 埼玉県経営者協会 名誉会長・日本赤十字社理事(R3.4.1~)

(4)評議員

(令和3年3月31日現在)

氏名	主な公職	氏名	主な公職
寺島 篤	さいたま市西区指扇地区社会福祉協議会長	並木 傑	新座市長
谷中 勲	さいたま市北区植竹地区社会福祉協議会長	小野 克典	桶川市長
松本 敏雄	さいたま市自治会連合会長	梅田 修一	久喜市長
武藤 勇	さいたま市見沼区大砂土東地区社会福祉協議会長	三宮 幸雄	北本市長
富澤 洋	さいたま市中央区自治会連合会長	香山 庸子	八潮市健康福祉部長
田中 喜久男	さいたま市桜区自治会連合会副会長	星野 光弘	富士見市長
石井 桂太郎	さいたま市浦和区自治会連合会副会長	木津 雅晟	三郷市長
細淵 紀雄	さいたま市南区武蔵浦和地区自治会連合会長	中野 和信	蓮田市長
鈴木 甫	自営業	石川 清	坂戸市長
三次 宣夫	さいたま市岩槻区自治会連合会長	木村 純夫	幸手市長
佐藤 敦弘	川越市社会福祉協議会事務局長	齊藤 芳久	鶴ヶ島市長
近藤 正広	川越市福祉部長	谷ヶ崎 照雄	日高市長
鯨井 敏朗	熊谷市福祉部長	中原 恵人	吉川市長
藤波 康彰	川口市福祉部長	高畑 博	ふじみ野市長
安藤 森吉	日本赤十字社埼玉県有功会川口市支会長	藤井 栄一郎	白岡市長
江利川 芳治	行田市社会福祉協議会常務理事	大島 清	伊奈町長
久喜 邦康	秩父市長	新井 康之	宮代町長
瀬能 幸則	所沢市福祉部長	古谷 松雄	杉戸町長
岡田 茂穂	会社役員	坂巻 正士	松伏町いきいき福祉課長
大久保 勝	飯能市長	林 伊佐雄	三芳町長
柿沼 峽一	加須市社会福祉協議会事務局長	井上 健次	毛呂山町長
木村 登志男	本庄市社会福祉協議会理事	松本 恒夫	小川町長
今村 浩之	東松山市健康福祉部長	山崎 正弘	神川町長
時田 美野吉	春日部市自治会連合会長	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会常務理事
滝嶋 正司	狭山市市民福祉部長	大澤 タキ江	長瀨町長
飯塚 丈記	羽生市福祉こども部長	清水 勇人	さいたま市長
高木 啓一	鴻巣市健康福祉部長	村田 俊彦	団体役員
小島 進	深谷市長	小野寺 貫一	会社役員
畠山 稔	上尾市長	大久保 美紀	団体役員
斉藤 和見	草加市健康福祉部長	高橋 裕一	埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団委員長
中井 淳	越谷市福祉部長	山口 節子	元赤十字奉仕団埼玉県支部委員会委員長
杉本 昭彦	越谷市社会福祉協議会長	立花 洋一	会社役員
頼高 英雄	蕨市長	平本 一郎	会社役員
菅原 文仁	戸田市長	平 匠子	団体役員
杉島 理一郎	入間市長	上木 雄二	埼玉県社会福祉協議会副会長
松尾 哲	朝霞市社会福祉協議会長	吉田 秀実	埼玉県民生委員・児童委員協議会事務局長
村上 孝浩	志木市健康福祉部長	齊之平 伸一	会社役員
松本 武洋	和光市長		

定員数75名

2 災害救護資材配備状況

(1)災害救援車両

ライトバンタイプ	
地区(2地区)	さいたま市南区、秩父市
ワンボックスタイプ(商用車)	
地区(1地区)	行田市
分区(1分区)	杉戸町
ワンボックスタイプ(乗用車)	
地区(1地区)	所沢市

(2)地区分区向け災害救護装備・機器(3カ年計画:2年次分)配備先と数量一覧

	地区・分区名	品名	数量
1	さいたま市地区本部	LPガス発電機・コードリールセット	1
2	さいたま市西区地区	中型救急箱	5
3	さいたま市北区地区	中型救急箱	1
4	さいたま市大宮区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		ハンズフリー拡声器	1
		中型救急箱	1
5	さいたま市見沼区地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
6	さいたま市中央区地区	簡易ベッド	2
		ハンズフリー拡声器	3
		トランシーバー(一対)	2
7	さいたま市桜区地区	天幕(大)	1
8	さいたま市浦和区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		車椅子	1
		ハンズフリー拡声器	1
		トランシーバー(一対)	1
9	さいたま市南区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		簡易ベッド	1
		大型扇風機	1
		ハンズフリー拡声器	2
10	さいたま市緑区地区	軽量折りたたみ式テント	1
11	さいたま市岩槻区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		非常用糞尿処理セット	3
12	川越市地区	大型扇風機	4
		車椅子	12
13	熊谷市地区	車椅子	2
		自動ラップ式簡易トイレ	1
14	川口市地区	簡易ベッド	27

15	行田市地区	トランシーバー(一対)	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
16	秩父市地区	プライベートテント	3
		大型扇風機	1
		ハンズフリー拡声器	3
		非常用糞尿処理セット	1
17	所沢市地区	大型扇風機	12
18	飯能市地区	天幕(大)	1
19	加須市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
20	本庄市地区	天幕(小)	1
		大型扇風機	1
21	東松山市地区	自動ラップ式簡易トイレ	1
22	春日部市地区	天幕(小)	1
		車椅子	2
23	狭山市地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
24	羽生市地区	軽量折りたたみ式テント	1
25	鴻巣市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		パーティーション	2
26	深谷市地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
27	上尾市地区	天幕(小)	1
		パーティーション	6
28	草加市地区	大型扇風機	12
		LED ランタン	1
29	越谷市地区	プライベートテント	4
		自動ラップ式簡易トイレ	1
30	蕨市地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
31	戸田市地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
32	入間市地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
		中型救急箱	1
33	朝霞市地区	パーティーション	1
		大型扇風機	1
34	志木市地区	プライベートテント	4
		LED ランタン	6
		非常用糞尿処理セット	4
35	和光市地区	軽量折りたたみ式テント	1
		車椅子	2
		非常用糞尿処理セット	3
36	新座市地区	天幕(小)	1
		プライベートテント	3
37	桶川市地区	LED ランタン	16

38	久喜市地区	簡易ベッド	5
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
39	北本市地区	パーテーション	8
40	八潮市地区	天幕(小)	1
41	富士見市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		トランシーバー(一対)	1
		LED ランタン	3
42	三郷市地区	簡易ベッド	14
43	蓮田市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
44	坂戸市地区	簡易ベッド	15
45	幸手市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		パーテーション	2
		手回し充電式防災ラジオ	1
46	鶴ヶ島市地区	自動ラップ式簡易トイレ	1
47	日高市地区	自動ラップ式簡易トイレ	2
48	吉川市地区	ハンズフリー拡声器	1
		自動ラップ式簡易トイレ	1
49	ふじみ野市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		LED ランタン	1
50	白岡市地区	自動ラップ式簡易トイレ	1
51	伊奈町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
52	三芳町分区	大型扇風機	6
		LED ランタン	4
53	毛呂山町分区	自動ラップ式簡易トイレ	1
54	越生町分区	パーテーション	3
		LED ランタン	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
55	滑川町分区	パーテーション	6
		LED ランタン	4
56	嵐山町分区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		ハンズフリー拡声器	1
57	小川町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
58	川島町分区	軽量折りたたみ式テント	1
59	吉見町分区	天幕(大)	1
60	鳩山町分区	投光器	2
61	ときがわ町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	4
62	横瀬町分区	パーテーション	1
		大型扇風機	1
		非常用糞尿処理セット	1
63	皆野町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1

64	長瀬町分区	大型扇風機	2
		中型救急箱	1
65	小鹿野町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
66	東秩父村分区	軽量折りたたみ式テント	1
67	美里町分区	大型扇風機	1
		LED ランタン	2
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
68	神川町分区	大型扇風機	3
		車椅子	4
69	上里町分区	LPガス発電機・コードリールセット	1
70	寄居町分区	簡易ベッド	2
		大型扇風機	1
		車椅子	2
		ハンスフリー拡声器	1
71	宮代町分区	大型扇風機	2
		車椅子	4
		LED ランタン	4
72	杉戸町分区	天幕(小)	1
		中型救急箱	1
73	松伏町分区	LED ランタン	4
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
74	東部中央地区	配備なし	—
75	西部地区	中型救急箱	1
76	北部地区	パーテーション	2
77	秩父地区	配備なし	—

3 救援物資・弔慰金内訳

(1)小規模災害(火災等)

	地区・分区名	被災 世帯数	被災者数	布団	毛布	緊急 セット	弔慰金	
							人数	金額
1	さいたま市地区本部	0	0	0	0	0	0	0
2	さいたま市西区地区	0	0	0	0	0	0	0
3	さいたま市北区地区	2	4	3	4	1	0	0
4	さいたま市大宮区地区	31	57	23	39	16	0	0
5	さいたま市見沼区地区	2	4	4	6	4	0	0
6	さいたま市中央区地区	0	0	0	0	0	3	60,000
7	さいたま市桜区地区	4	8	5	5	4	1	20,000
8	さいたま市浦和区地区	2	4	4	4	0	0	0
9	さいたま市南区地区	3	5	4	4	2	0	0
10	さいたま市緑区地区	0	0	0	0	0	3	60,000
11	さいたま市岩槻区地区	3	4	4	5	3	0	0
12	川越市地区	17	34	30	31	16	3	70,000
13	熊谷市地区	0	0	0	1	6	1	30,000
14	川口市地区	5	10	10	10	5	2	50,000
15	行田市地区	0	0	0	0	0	0	0
16	秩父市地区	1	3	3	3	1	0	0
17	所沢市地区	9	21	13	8	10	1	20,000
18	飯能市地区	0	0	0	0	0	0	0
19	加須市地区	1	5	5	5	2	1	20,000
20	本庄市地区	5	19	16	16	5	0	0
21	東松山市地区	9	18	17	15	14	2	40,000
22	春日部市地区	1	2	2	2	1	0	0
23	狭山市地区	2	6	6	6	2	0	0
24	羽生市地区	6	17	17	17	15	0	0
25	鴻巣市地区	1	2	1	1	1	0	0
26	深谷市地区	0	0	0	0	0	1	30,000
27	上尾市地区	1	3	3	3	1	1	20,000
28	草加市地区	2	5	4	4	2	1	20,000
29	越谷市地区	0	0	0	0	0	0	0
30	蕨市地区	0	0	0	0	0	0	0
31	戸田市地区	6	11	11	11	11	1	30,000

32	入間市地区	3	5	4	2	3	0	0
33	朝霞市地区	0	0	0	0	0	0	0
34	志木市地区	0	0	0	0	0	0	0
35	和光市地区	0	0	3	0	0	1	20,000
36	新座市地区	8	20	18	5	8	1	20,000
37	桶川市地区	1	1	1	1	1	0	0
38	久喜市地区	2	6	6	6	2	0	0
39	北本市地区	0	0	0	0	3	0	0
40	八潮市地区	0	0	0	0	0	0	0
41	富士見市地区	8	20	14	12	6	0	0
42	ふじみ野市地区	2	5	5	4	2	0	0
43	三郷市地区	7	13	9	11	7	2	60,000
44	蓮田市地区	2	4	3	4	2	0	0
45	坂戸市地区	1	4	2	2	1	1	20,000
46	幸手市地区	0	0	0	10	10	0	0
47	鶴ヶ島市地区	0	0	0	0	0	1	20,000
48	日高市地区	3	15	13	15	5	1	20,000
49	吉川市地区	0	0	0	0	0	0	0
50	白岡市地区	1	2	2	2	1	2	40,000
51	伊奈町分区	1	3	4	1	2	0	0
52	三芳町分区	0	0	0	0	0	0	0
53	毛呂山町分区	0	0	0	0	0	0	0
54	越生町分区	0	0	0	0	0	0	0
55	滑川町分区	0	0	0	0	0	0	0
56	嵐山町分区	0	0	0	0	0	0	0
57	小川町分区	0	0	0	0	0	0	0
58	ときがわ町分区	0	0	1	0	0	0	0
59	川島町分区	1	3	2	3	1	0	0
60	吉見町分区	0	0	0	0	0	0	0
61	鳩山町分区	0	0	0	0	0	0	0
62	横瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
63	皆野町分区	0	0	0	0	0	0	0
64	長瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
65	小鹿野町分区	0	0	0	0	0	0	0
66	東秩父村分区	0	0	0	0	0	0	0

67	美里町分区	0	0	0	0	0	0	0
68	神川町分区	0	0	0	0	0	0	0
69	上里町分区	0	0	0	0	0	0	0
70	寄居町分区	2	6	5	5	2	0	0
71	宮代町分区	3	4	5	5	4	0	0
72	杉戸町分区	0	0	0	0	0	0	0
73	松伏町分区	0	0	0	0	0	1	30,000
74	東部中央地区	—	—	—	—	—	—	—
75	西部地区	—	—	—	—	—	—	—
76	北部地区	—	—	—	—	—	—	—
77	秩父地区	—	—	—	—	—	—	—
合計		158	353	282	288	182	31	700,000

4 臨時救護実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、看護師派遣を見合わせた。

5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況

(1) 救急法

ア 基礎講習

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(12)	0(336)
	職域	0(11)	0(210)
	その他	0(29)	0(862)
合計		0(52)	0(1,408)

イ 救急員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(7)	0(200)	0(199)
	職域	0(2)	0(52)	0(52)
	その他	0(19)	0(561)	0(556)
合計		0(28)	0(813)	0(807)

ウ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	9(3)	89(36)
	ボランティア	2(37)	18(1,447)
一般受講者	学生	11(31)	454(2,796)
	職域	53(69)	744(2,574)
	その他	0(54)	0(4,520)
合計		75(194)	1,305(11,373)

(2)水上安全法

ア 救助員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回		受講者数:人		養成者数:人	
		I	Ⅱ	I	Ⅱ	I	Ⅱ
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(1)	0(0)	0(8)	0(0)	0(7)	0(0)
	その他	0(4)	0(1)	0(73)	0(12)	0(63)	0(12)
合計		0(5)	0(1)	0(81)	0(12)	0(70)	0(12)

イ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(16)	0(2,092)
	職域	0(2)	0(160)
	その他	0(2)	0(48)
合計		0(20)	0(2,300)

(3)健康生活支援講習

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (0)	0(0)	0(0)
	その他	0 (4)	0(59)	0(45)
合計		0 (4)	0(59)	0(45)

イ 短期講習会(災害時高齢者生活支援講習を含む

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	5(0)	89(0)
	ボランティア	0(6)	0(105)
一般受講者	学生	0(5)	0(317)
	職域	1(6)	10(118)
	その他	2(22)	33(1,056)
合計		8(39)	132(1,596)

(4) 幼児安全法

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (1)	0(19)	0(18)
	その他	0 (4)	0(104)	0(102)
合計		0 (5)	0(123)	0(120)

イ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	3(0)	28(0)
	ボランティア	6(23)	56(515)
一般受講者	学生	15(5)	201(312)
	職域	4(29)	29(927)
	その他	0(21)	0(617)
合計		28(78)	314(2,371)

(5) 雪上安全法

開催なし。

6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数

(1) 地域奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉仕団名	結 成 年月日	団員数 (人)	奉仕団名	結 成 年月日	団員数 (人)
さいたま市与野赤十字奉仕団	S45. 4. 1	18	坂戸市赤十字奉仕団	S32. 4. 1	174
さいたま市南区赤十字奉仕団	H17. 4. 1	24	鶴ヶ島市赤十字奉仕団	S60. 5. 22	33
さいたま市岩槻区赤十字奉仕団	S33. 4. 21	20	日高市赤十字奉仕団	S41. 4. 1	280
川越市赤十字奉仕団	S58. 3. 26	54	伊奈町赤十字奉仕団	S53. 11. 10	79
熊谷市赤十字奉仕団	S53. 4. 25	195	三芳町赤十字奉仕団	S31. 12. 1	26
川口市赤十字奉仕団	H 6. 12. 1	597	毛呂山町赤十字奉仕団	S47. 12. 1	128
秩父市赤十字奉仕団	S42. 4. 22	275	越生町赤十字奉仕団	S33. 4. 21	16
所沢市赤十字奉仕団	S47. 4. 1	750	滑川町赤十字奉仕団	S32. 4. 6	104
飯能市赤十字奉仕団	S33. 10. 25	111	嵐山町赤十字奉仕団	S54. 2. 13	45
加須市赤十字奉仕団	S50. 7. 4	109	小川町赤十字奉仕団	H12. 6. 26	176
本庄市赤十字奉仕団	H19. 10. 12	65	ときがわ町赤十字奉仕団	H14. 9. 27	27
東松山市赤十字奉仕団	S32. 4. 19	203	川島町赤十字奉仕団	S26. 9. 10	178
春日部市赤十字奉仕団	S26. 9. 10	107	吉見町赤十字奉仕団	H 7. 8. 23	16
狭山市赤十字奉仕団	S55. 4. 5	39	横瀬町赤十字奉仕団	S46. 4. 1	73
鴻巣市赤十字奉仕団	S25. 10. 19	112	皆野町赤十字奉仕団	S60. 6. 19	86
深谷市赤十字奉仕団	S62. 4. 1	403	長瀨町赤十字奉仕団	S45. 4. 15	109
越谷市赤十字奉仕団	H12. 3. 23	140	小鹿野町赤十字奉仕団	S45. 11. 3	44
蕨市赤十字奉仕団	S24. 4. 14	153	美里町赤十字奉仕団	S28. 6. 3	66
入間市赤十字奉仕団	S24. 6. 1	102	神川町赤十字奉仕団	S42. 10. 7	111
志木市赤十字奉仕団	S56. 5. 18	132	上里町赤十字奉仕団	S25. 10. 5	113
桶川市赤十字奉仕団	S26. 8. 21	25	寄居町赤十字奉仕団	S53. 3. 28	69
久喜市赤十字奉仕団	H 3. 5. 1	37	宮代町赤十字奉仕団	S54. 6. 26	103
富士見市赤十字奉仕団	S29. 4. 1	101	杉戸町赤十字奉仕団	S52. 2. 14	50
ふじみ野市赤十字奉仕団	S47. 5. 10	93	松伏町赤十字奉仕団	S54. 10. 29	36
三郷市赤十字奉仕団	H11. 4. 1	39			

(2)青年奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)
埼玉県青少年赤十字卒業生奉仕団	S52. 6.11	14

(3)特殊奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結 成 年月日	団員数 (人)	奉 仕 団 名	結 成 年月日	団員数 (人)
埼玉マジック赤十字奉仕団	S50. 4. 1	10	埼玉県ナース赤十字奉仕団	S61. 5.31	13
SRCHボランティア赤十字奉仕団	S61. 2.19	79	支部援助赤十字奉仕団	H 8. 4.22	11
日赤埼玉水上安全奉仕団	H10. 4.26	126	埼玉県子育て介護赤十字奉仕団	H18.10. 1	49
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団	H13. 7.12	447	埼玉工業大学赤十字奉仕団	H23. 4. 1	27
埼玉安全赤十字奉仕団	S56. 4.21	138			

7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿

(令和3年3月31日現在)

区分	役職名	氏名	職名
	委員長	岩岡 民枝	所沢市赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	森田 照子	春日部市赤十字奉仕団委員長
	委員	井原 弘美	さいたま市与野赤十字奉仕団委員長
	委員	山川 安代	飯能市赤十字奉仕団委員長
	委員	三友 登代	鴻巣市赤十字奉仕団委員長
町・村	委員	長岡 朝子	杉戸町赤十字奉仕団委員長
	委員	石川 厚子	川島町赤十字奉仕団委員長
	委員	井田 静江	寄居町赤十字奉仕団委員長
	委員	齊藤 よ志子	上里町赤十字奉仕団委員長
	委員	新井 和子	長瀨町赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	星野 明仁	さいたま市福祉総務課長
	委員	二上 清次	所沢市社会福祉協議会事務局長
	委員	飯口 信彦	春日部市生活支援課長
	委員	竹井 伸次	飯能市地域・生活福祉課長
	委員	沼上 勝	鴻巣市福祉課長
町・村	委員	間宮 佐	杉戸町社会福祉協議会事務局長
	委員	宇津木 康明	川島町社会福祉協議会事務局長
	委員	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会事務局長
	委員	石井 里実	上里町社会福祉協議会事務局長
	委員	金澤 裕治	長瀨町社会福祉協議会事務局長
郡	常任委員	原科 正夫	埼玉県北部福祉事務所所長
	委員	大熊 誉隆	埼玉県東部中央福祉事務所所長
	委員	佐々木 政司	埼玉県西部福祉事務所所長
	委員	大木 正仁	埼玉県秩父福祉事務所所長
	副委員長	黒瀬 節子	支部指導講師
	常任委員	丸山 まゆみ	埼玉安全赤十字奉仕団委員長
	委員	内山 嶺治	埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会会長

8 青少年赤十字加盟校一覧

(1)小学校

(令和3年3月31日現在)

さいたま市(36)	川越市立川越第一小学校	熊谷市立新堀小学校	飯能市立吾野小学校
埼玉大学教育学部附属小学校	川越市立中央小学校	熊谷市立吉見小学校	飯能市立名栗小学校
さいたま市立片柳小学校	川越市立川越小学校	熊谷市立市田小学校	加須市(17)
さいたま市立文蔵小学校	川越市立南古谷小学校	熊谷市立江南北小学校	加須市立礼羽小学校
さいたま市立東大成小学校	川越市立泉小学校	川口市(16)	加須市立樋遣川小学校
さいたま市立大成小学校	川越市立大東西小学校	川口市立並木小学校	加須市立加須小学校
さいたま市立大宮北小学校	川越市立霞ヶ関小学校	川口市立青木中央小学校	加須市立水深小学校
さいたま市立大宮南小学校	川越市立広谷小学校	川口市立戸塚南小学校	加須市立大越小学校
さいたま市立大宮小学校	川越市立高階小学校	川口市立芝西小学校	加須市立不動岡小学校
さいたま市立七里小学校	川越市立高階西小学校	川口市立東領家小学校	加須市立大利根東小学校
さいたま市立岩槻小学校	川越市立月越小学校	川口市立南鳩ヶ谷小学校	加須市立原道小学校
さいたま市立与野八幡小学校	川越市立川越西小学校	川口市立上青木南小学校	加須市立志多見小学校
さいたま市立谷田小学校	川越市立寺尾小学校	川口市立朝日西小学校	加須市立豊野小学校
さいたま市立見沼小学校	川越市立芳野小学校	川口市立十二月田小学校	加須市立大桑小学校
さいたま市立道祖土小学校	川越市立仙波小学校	川口市立芝小学校	加須市立三俣小学校
さいたま市立春野小学校	川越市立新宿小学校	川口市立上青木小学校	加須市立元和小学校
さいたま市立沼影小学校	川越市立高階北小学校	川口市立戸塚小学校	加須市立花崎北小学校
さいたま市立仲町小学校	川越市立古谷小学校	川口市立飯仲小学校	加須市立加須南小学校
さいたま市立常盤小学校	川越市立霞ヶ関東小学校	川口市立鳩ヶ谷小学校	加須市立北川辺西小学校
さいたま市立常盤北小学校	熊谷市(22)	川口市立柳崎小学校	加須市立北川辺東小学校
さいたま市立つばさ小学校	熊谷市立熊谷西小学校	川口市立芝富士小学校	本庄市(0)
さいたま市立辻南小学校	熊谷市立玉井小学校	行田市(3)	東松山市(1)
さいたま市立辻小学校	熊谷市立中条小学校	行田市立中央小学校	東松山市立大岡小学校
さいたま市立田島小学校	熊谷市立熊谷南小学校	行田市立須加小学校	春日部市(4)
さいたま市立泰平小学校	熊谷市立熊谷東小学校	行田市立東小学校	春日部市立南桜井小学校
さいたま市立下落合小学校	熊谷市立石原小学校	秩父市(6)	春日部市立備後小学校
さいたま市立指扇北小学校	熊谷市立奈良小学校	秩父市立大田小学校	春日部市立宮川小学校
さいたま市立上里小学校	熊谷市立成田小学校	秩父市立南小学校	春日部市立正善小学校
さいたま市立大谷口小学校	熊谷市立大麻生小学校	秩父市立尾田蔭小学校	狭山市(3)
さいたま市立大戸小学校	熊谷市立大幡小学校	秩父市立吉田小学校	狭山市立水富小学校
さいたま市立大久保東小学校	熊谷市立三尻小学校	秩父市立秩父第一小学校	狭山市立狭山台小学校
さいたま市立栄和小学校	熊谷市立吉岡小学校	秩父市立影森小学校	狭山市立広瀬小学校
さいたま市立大宮東小学校	熊谷市立佐谷田小学校	所沢市(4)	羽生市(5)
さいたま市立大谷場小学校	熊谷市立別府小学校	所沢市立南小学校	羽生市立手子林小学校
さいたま市立大谷場東小学校	熊谷市立星宮小学校	所沢市立中央小学校	羽生市立羽生南小学校
さいたま市立日進小学校	熊谷市立籠原小学校	所沢市立松井小学校	羽生市立井泉小学校
さいたま市立宮原小学校	熊谷市立久下小学校	所沢市立宮前小学校	羽生市立新郷第一小学校
川越市(19)	熊谷市立桜木小学校	飯能市(2)	羽生市立村君小学校

鴻巣市(15)	越谷市立蒲生南小学校	三郷市(3)	伊奈町立南小学校
鴻巣市立鴻巣東小学校	越谷市立大袋小学校	三郷市立前間小学校	宮代町(0)
鴻巣市立鴻巣南小学校	越谷市立大沢小学校	三郷市立彦郷小学校	杉戸町(0)
鴻巣市立屈巢小学校	越谷市立南越谷小学校	三郷市立高州小学校	松伏町(0)
鴻巣市立共和小学校	越谷市立越ヶ谷小学校	蓮田市(0)	三芳町(5)
鴻巣市立広田小学校	越谷市立平方小学校	坂戸市(12)	三芳町立三芳小学校
鴻巣市立赤見台第一小学校	越谷市立蒲生小学校	坂戸市立千代田小学校	三芳町立藤久保小学校
鴻巣市立赤見台第二小学校	越谷市立大沢北小学校	坂戸市立入西小学校	三芳町立竹間沢小学校
鴻巣市立下忍小学校	越谷市立花田小学校	坂戸市立三芳野小学校	三芳町立上富小学校
鴻巣市立吹上小学校	越谷市立宮本小学校	坂戸市立坂戸小学校	三芳町立唐沢小学校
鴻巣市立常光小学校	越谷市立荻島小学校	坂戸市立片柳小学校	毛呂山町(4)
鴻巣市立松原小学校	越谷市立鷺後小学校	坂戸市立浅羽野小学校	毛呂山町立光山小学校
鴻巣市立箕田小学校	越谷市立東越谷小学校	坂戸市立南小学校	毛呂山町立毛呂山小学校
鴻巣市立田間宮小学校	越谷市立明正小学校	坂戸市立上谷小学校	毛呂山町立泉野小学校
鴻巣市立大芦小学校	越谷市立大袋東小学校	坂戸市立勝呂小学校	毛呂山町立川角小学校
鴻巣市立小谷小学校	越谷市立千間台小学校	坂戸市立城山小学校	越生町(2)
深谷市(4)	越谷市立大相模小学校	坂戸市立大家小学校	越生町立梅園小学校
深谷市立八基小学校	越谷市立城ノ上小学校	坂戸市立桜小学校	越生町立越生小学校
深谷市立川本南小学校	越谷市立蒲生第二小学校	幸手市(2)	滑川町(3)
深谷市立川本北小学校	越谷市立北越谷小学校	幸手市立上高野小学校	滑川町立福田小学校
深谷市立上柴西小学校	蕨市(0)	幸手市立幸手小学校	滑川町立宮前小学校
上尾市(14)	戸田市(0)	鶴ヶ島市(8)	滑川町立月の輪小学校
上尾市立上尾小学校	入間市(1)	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校	嵐山町(3)
上尾市立上平小学校	入間市立東金子小学校	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校	嵐山町立菅谷小学校
上尾市立芝川小学校	朝霞市(0)	鶴ヶ島市立藤小学校	嵐山町立七郷小学校
上尾市立平方小学校	志木市(0)	鶴ヶ島市立新町小学校	嵐山町立志賀小学校
上尾市立大石小学校	和光市(1)	鶴ヶ島市立長久保小学校	小川町(1)
上尾市立東小学校	和光市立下新倉小学校	鶴ヶ島市立南小学校	小川町立小川小学校
上尾市立大石南小学校	新座市(0)	鶴ヶ島市立杉下小学校	川島町(0)
上尾市立富士見小学校	桶川市(1)	鶴ヶ島市立栄小学校	吉見町(1)
上尾市立今泉小学校	桶川市立朝日小学校	日高市(4)	吉見町立北小学校
上尾市立大谷小学校	久喜市(1)	日高市立高根小学校	鳩山町(0)
上尾市立平方東小学校	久喜市立青毛小学校	日高市立高麗川小学校	ときがわ町(0)
上尾市立大石北小学校	北本市(0)	日高市立高萩北小学校	東秩父村(0)
上尾市立瓦葺小学校	八潮市(0)	日高市立高萩小学校	美里町(0)
上尾市立東町小学校	富士見市(1)	吉川市(1)	神川町(1)
草加市(2)	富士見市立針ヶ谷小学校	吉川市立栄小学校	神川町立神泉小学校
草加市立高砂小学校	ふじみ野市(2)	白岡市(1)	上里町(0)
草加市立八幡小学校	ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校	白岡市立南小学校	寄居町(1)
越谷市(20)	ふじみ野市立上野台小学校	伊奈町(1)	寄居町立折原小学校

横瀬町(1)	皆野町(0)	長瀬町立長瀬第一小学校	小鹿野町(0)
横瀬町立横瀬小学校	長瀬町(2)	長瀬町立長瀬第二小学校	

(2)中学校

(令和3年3月31日現在)

さいたま市(17)	行田市立埼玉中学校	鴻巣市立川里中学校	志木市(3)
さいたま市立大宮南中学校	行田市立南河原中学校	鴻巣市立鴻巣西中学校	志木市立宗岡中学校
さいたま市立桜木中学校	行田市立見沼中学校	鴻巣市立鴻巣北中学校	志木市立宗岡第二中学校
さいたま市立土呂中学校	行田市立太田中学校	深谷市(3)	志木市立志木中学校
さいたま市立大宮八幡中学校	秩父市(2)	深谷市立上柴中学校	和光市(1)
さいたま市立七里中学校	秩父市立吉田中学校	深谷市立川本中学校	和光市立第二中学校
さいたま市立川通中学校	秩父市立尾田蒔中学校	深谷市立明戸中学校	新座市(0)
さいたま市立馬宮中学校	所沢市(0)	上尾市(11)	桶川市(1)
さいたま市立大成中学校	飯能市(0)	上尾市立上平中学校	桶川市立桶川中学校
さいたま市立浦和中中学校	加須市(6)	上尾市立南中学校	久喜市(4)
さいたま市立岸中学校	加須市立加須北中学校	上尾市立大石中学校	久喜市立鷲宮東中学校
さいたま市立八王子中学校	加須市立昭和中中学校	上尾市立大谷中学校	久喜市立栗橋東中学校
さいたま市立南浦和中中学校	加須市立加須西中学校	上尾市立大石南中学校	久喜市立鷲宮中学校
さいたま市立美園中学校	加須市立加須東中学校	上尾市立太平中学校	久喜市立久喜東中学校
さいたま市立慈恩寺中学校	加須市立加須平成中学校	上尾市立原市中学校	北本市(3)
さいたま市立常盤中学校	加須市立北川辺中学校	上尾市立東中学校	北本市立宮内中学校
さいたま市立白幡中学校	本庄市(2)	上尾市立瓦葺中学校	北本市立東中学校
さいたま市立植水中学校	本庄東高等学校附属中学校	上尾市立西中学校	北本市立北本中学校
川越市(5)	本庄市立本庄南中学校	上尾市立上尾中学校	八潮市(2)
川越市立初雁中学校	東松山市(1)	草加市(1)	八潮市立八潮中学校
川越市立南古谷中学校	東松山市立北中学校	草加市立栄中学校	八潮市立潮止中学校
川越市立芳野中学校	春日部市(6)	越谷市(11)	富士見市(2)
川越市立東中学校	春日部市立春日部中学校	越谷市立東中学校	富士見市立勝瀬中学校
川越市立山田中学校	春日部市立豊春中学校	越谷市立中央中学校	富士見市立本郷中学校
熊谷市(4)	春日部市立緑中学校	越谷市立大相模中学校	ふじみ野市(3)
熊谷市立荒川中学校	春日部市立東中学校	越谷市立北中学校	ふじみ野市立大井西中学校
熊谷市立玉井中学校	春日部市立飯沼中学校	越谷市立西中学校	ふじみ野市立福岡中学校
熊谷市立大里中学校	春日部市立春日部南中学校	越谷市立北陽中学校	ふじみ野市立花の木中学校
熊谷市立三尻中学校	狭山市(1)	越谷市立大袋中学校	三郷市(1)
川口市(4)	狭山市立堀兼中学校	越谷市立南中学校	三郷市立彦糸中学校
川口市立西中学校	羽生市(2)	越谷市立富士中学校	蓮田市(1)
川口市立領家中学校	羽生市立東中学校	越谷市立武蔵野中学校	蓮田市立平野中学校
川口市立上青木中学校	羽生市立西中学校	越谷市立千間台中学校	坂戸市(6)
川口市立安行東中学校	鴻巣市(7)	蕨市(0)	坂戸市立住吉中学校
行田市(7)	鴻巣市立鴻巣中学校	戸田市(1)	坂戸市立坂戸中学校
行田市立行田中学校	鴻巣市立鴻巣南中学校	戸田市立笹目中学校	坂戸市立若宮中学校
行田市立忍中学校	鴻巣市立吹上北中学校	入間市(0)	坂戸市立千代田中学校
行田市立西中学校	鴻巣市立吹上中学校	朝霞市(0)	坂戸市立浅羽野中学校

坂戸市立桜中学校	吉川市(0)	毛呂山町立立川角中学校	ときがわ町(1)
幸手市(1)	白岡市(1)	毛呂山町立毛呂山中学校	ときがわ町立都幾川中学校
幸手市立幸手中学校	白岡市立篠津中学校	越生町(1)	東秩父村(0)
鶴ヶ島市(4)	伊奈町(2)	越生町立越生中学校	美里町(1)
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校	伊奈町立伊奈中学校	滑川町(1)	美里町立美里中学校
鶴ヶ島市立西中学校	伊奈町立小針中学校	滑川町立滑川中学校	神川町(0)
鶴ヶ島市立藤中学校	宮代町(1)	嵐山町(3)	上里町(0)
鶴ヶ島市立富士見中学校	宮代町立須賀中学校	嵐山町立菅谷中学校	寄居町(0)
日高市(6)	杉戸町(0)	嵐山町立玉ノ岡中学校	横瀬町(0)
日高市立高萩中学校	松伏町(0)	大妻嵐山中学校	皆野町(0)
日高市立高根中学校	三芳町(3)	小川町(0)	長瀬町(1)
日高市立武蔵台中学校	三芳町立三芳東中学校	川島町(1)	長瀬町立長瀬中学校
日高市立高麗川中学校	三芳町立藤久保中学校	川島町立川島中学校	小鹿野町(0)
日高市立高萩北中学校	三芳町立三芳中学校	吉見町(0)	
日高市立高麗中学校	毛呂山町(2)	鳩山町(0)	

(3)高等学校

(令和3年3月31日現在)

さいたま市(9)	深谷市(2)	幸手市(1)
さいたま市立浦和高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校	埼玉県立幸手桜高等学校
埼玉県立浦和高等学校	正智深谷高等学校	伊奈町(2)
埼玉県立浦和第一女子高等学校	上尾市(2)	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
埼玉県立大宮高等学校	埼玉県立上尾高等学校(定時制課程)	国際学院中学校高等学校
大宮開成高等学校	埼玉県立上尾南高等学校	毛呂山町(1)
KG 高等学院 大宮キャンパス	草加市(2)	埼玉平成高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	埼玉県立草加高等学校	越生町(1)
埼玉県立常盤高等学校	埼玉県立草加東高等学校	武蔵越生高等学校
埼玉県立岩槻高等学校	越谷市(4)	滑川町(1)
川越市(5)	埼玉県立越谷南高等学校	埼玉県立滑川総合高等学校
川越市立川越高等学校	埼玉県立越谷東高等学校	嵐山町(1)
埼玉県立川越高等学校	埼玉県立越谷西高等学校	大妻嵐山高等学校
埼玉県立川越初雁高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校	小川町(1)
埼玉県立川越総合高等学校	蕨市(1)	埼玉県立小川高等学校
山村学園高等学校	武南高等学校	皆野町(1)
熊谷市(1)	入間市(1)	埼玉県立皆野高等学校
埼玉県立妻沼高等学校	埼玉県立入間向陽高等学校	杉戸町(2)
川口市(2)	新座市(2)	埼玉県立杉戸高等学校
川口市立高等学校	埼玉県立新座総合技術高等学校	埼玉県立杉戸農業高等学校
埼玉県立川口青陵高等学校	埼玉県立新座柳瀬高等学校	
加須市(2)	桶川市(1)	
埼玉県立不動岡高等学校	埼玉県立桶川高等学校	
学校法人佐藤栄学園 花咲徳栄高等学校	久喜市(4)	
東松山市(2)	埼玉県立久喜北陽高等学校	
埼玉県立松山高等学校	埼玉県立久喜高等学校	
埼玉県立松山女子高等学校	埼玉県立久喜工業高等学校	
春日部市(3)	埼玉県立鷺宮高等学校	
埼玉県立春日部高等学校	北本市(1)	
埼玉県立春日部女子高等学校	埼玉県立北本高等学校	
埼玉県立春日部東高等学校	八潮市(1)	
羽生市(2)	埼玉県立八潮高等学校	
埼玉県立羽生第一高等学校	三郷市(1)	
埼玉県立誠和福祉高等学校	埼玉県立三郷高等学校	
鴻巣市(1)	埼玉県立三郷工業技術高等学校	
埼玉県立鴻巣女子高等学校	坂戸市(1)	
	埼玉県立坂戸西高等学校	

(4)こども赤十字
幼稚園

(令和3年3月31日現在)

さいたま市(12)	加須市立大越幼稚園	北越谷幼稚園
双恵幼稚園	加須市立水深幼稚園	入間市(3)
浦和幼稚園	加須市立加須幼稚園	若杉幼稚園
大宮なみき幼稚園	加須市立大桑幼稚園	角栄幼稚園
ひばり幼稚園	加須市立礼羽幼稚園	元加治幼稚園
与野愛仕幼稚園	加須市立不動岡幼稚園	朝霞市(1)
青いとり幼稚園	加須市立三俣幼稚園	さいか幼稚園
むさし幼稚園	本庄市(1)	志木市(2)
浦和こぼと幼稚園	若泉幼稚園	志木協会附属泉幼稚園
福寿幼稚園	東松山市(2)	細田学園幼稚園
染谷幼稚園	松山聖ルカ幼稚園	新座市(2)
白菊幼稚園	東平幼稚園	第二新座幼稚園
岩槻若葉幼稚園	春日部市(4)	第一新座幼稚園
川越市(4)	内牧幼稚園	桶川市(2)
ひまわり南幼稚園	桃園幼稚園	しろがね幼稚園
ひまわり東幼稚園	豊春幼稚園	桶川ときわこども園
ひまわり幼稚園	一の割幼稚園	八潮市(3)
みよしの幼稚園	狭山市(3)	小倉あさひ幼稚園
熊谷市(4)	狭山市立入間川幼稚園	八潮ちくみ幼稚園
妻沼幼稚園	狭山市立水富幼稚園	青和幼稚園
成田こども園	ひかり幼稚園	坂戸市(2)
熊谷市立江南幼稚園	羽生市(1)	入西幼稚園
立正幼稚園	建福寺幼稚園	坂戸カオル幼稚園
川口市(2)	上尾市(1)	幸手市(1)
たちばな幼稚園	カオル幼稚園	幸手白百合幼稚園
清月幼稚園	草加市(8)	鶴ヶ島市(3)
小桜幼稚園	かおり karuna 認定こども園	つくし幼稚園
行田市(2)	いなり幼稚園	かみひろや幼稚園
ホザナ幼稚園	新田幼稚園	つるがしま白百合幼稚園
まつたけ幼稚園	草加ひまわり幼稚園	ふじみ野市(1)
所沢市(1)	フラワー幼稚園	香取第二幼稚園
すずらん幼稚園	谷塚おざわ幼稚園	毛呂山町(3)
飯能市(2)	草加ひので幼稚園	ながせ幼稚園
学校法人 飯能幼稚園	あずま幼稚園	ときわぎこども園
加須市(10)	越谷市(4)	あけぼの幼児園
加須市立樋遣川幼稚園	萩原第一幼稚園	滑川町(1)
加須市立花崎北幼稚園	南越谷幼稚園	滑川町立滑川幼稚園
加須市立志多見幼稚園	しらこぼと幼稚園	嵐山町(1)
		嵐山町立嵐山幼稚園

保育園

さいたま市(3)	東光保育園
うらわライトハウス保育園	花園第二こども園
いちご南保育園	深谷西保育園
いちご保育園	上尾市(1)
川越市(1)	ころぼっくる第二保育園
芳野保育園	草加市(1)
熊谷市(7)	かおり Putra 保育園
第三なでしこ保育園	富士見市(6)
なでしこ保育園	富士見市立第一保育所
第二なでしこ保育園	富士見市立第六保育所
ことぶきイーサイト保育園	富士見市立第四保育所
熊谷太井保育園	富士見市立第二保育所
ことぶき花ノ木保育園	富士見市立第三保育所
ことぶき乳児保育園	富士見市立第五保育所
行田市(7)	毛呂山町(2)
埼玉保育園	毛呂山町立ゆずの里保育園
和光保育園	毛呂山町立旭台保育園
白鳩保育園	小川町(1)
行田市立持田保育園	小川保育園
太井保育園	
太田保育園	
行田市立南河原保育園	
所沢市(3)	
わかたけ鳩峯保育園	
わかたけ元町保育園	
わかたけ保育園	
本庄市(1)	
こぞくら保育園	
東松山市(2)	
あっぶる幼児園	
のもと保育園	
鴻巣市(1)	
寺谷保育園	
深谷市(7)	
深谷藤沢保育園	
花園保育園	
深谷上柴保育園	
深谷保育園	

9 地区・分区活動資金募集実績額

(1)市地区

(単位:円)

地区名		一般活動資金 依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
さいたま市	西区	4,714,800	3,856,190	0	3,856,190	81.8%
	北区	8,464,000	5,503,256	350,000	5,853,256	69.2%
	大宮区	6,914,600	5,620,247	102,000	5,722,247	82.8%
	見沼区	9,127,800	6,128,658	85,000	6,213,658	68.1%
	中央区	5,940,800	3,309,456	37,000	3,346,456	56.3%
	桜区	6,090,500	3,290,948	3,000	3,293,948	54.1%
	浦和区	8,955,400	3,442,727	70,000	3,512,727	39.2%
	南区	10,820,200	6,319,491	21,000	6,340,491	58.6%
	緑区	6,143,900	5,034,710	20,220	5,054,930	82.3%
	岩槻区	6,266,400	4,587,847	120,000	4,707,847	75.1%
川越市		20,191,900	17,116,742	10,849,000	27,965,742	138.5%
熊谷市		11,355,700	12,632,363	4,175,569	16,807,932	148.0%
川口市		34,062,700	20,011,872	1,991,000	22,002,872	64.6%
行田市		4,671,800	5,807,402	39,000	5,846,402	125.1%
秩父市		3,670,000	3,272,787	4,590,200	7,862,987	214.3%
所沢市		20,609,500	10,700,874	2,956,189	13,657,063	66.3%
飯能市		4,661,300	3,570,716	454,450	4,025,166	86.4%
加須市		6,097,300	11,542,139	417,631	11,959,770	196.1%
本庄市		4,766,400	4,664,500	287,000	4,951,500	103.9%
東松山市		5,189,500	5,416,070	437,000	5,853,070	112.8%
春日部市		13,629,700	11,095,847	241,000	11,336,847	83.2%
狭山市		9,043,800	3,827,807	248,900	4,076,707	45.1%
羽生市		2,996,400	2,964,160	1,165,000	4,129,160	137.8%
鴻巣市		6,584,300	5,855,487	63,000	5,918,487	89.9%
深谷市		7,789,800	8,341,101	2,345,000	10,686,101	137.2%
上尾市		12,950,000	9,853,939	5,944,443	15,798,382	122.0%
草加市		14,875,200	9,321,070	481,000	9,802,070	65.9%
越谷市		19,004,300	13,895,125	307,193	14,202,318	74.7%
蕨市		4,676,900	3,722,410	595,000	4,317,410	92.3%
戸田市		7,765,900	5,877,940	0	5,877,940	75.7%
入間市		8,510,300	9,622,834	1,378,400	11,001,234	129.3%
朝霞市		8,149,400	5,027,758	288,000	5,315,758	65.2%

地区名	一般活動資金 依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
志木市	4,163,300	3,375,500	0	3,375,500	81.1%
和光市	5,281,500	1,866,087	330,000	2,196,087	41.6%
新座市	9,450,600	7,129,892	69,000	7,198,892	76.2%
桶川市	4,212,300	4,028,160	86,500	4,114,660	97.7%
久喜市	8,627,000	6,051,311	1,139,000	7,190,311	83.3%
北本市	3,884,500	3,513,987	77,000	3,590,987	92.4%
八潮市	4,812,000	4,743,406	150,000	4,893,406	101.7%
富士見市	6,492,600	5,209,609	314,000	5,523,609	85.1%
ふじみ野市	6,278,200	8,461,645	244,500	8,706,145	138.7%
三郷市	7,594,400	6,592,167	1,880,000	8,472,167	111.6%
蓮田市	3,535,500	5,196,518	249,000	5,445,518	154.0%
坂戸市	6,078,000	4,827,111	160,622	4,987,733	82.1%
幸手市	3,006,100	3,195,890	163,730	3,359,620	111.8%
鶴ヶ島市	4,098,600	151,949	203,222	355,171	8.7%
日高市	3,203,000	4,659,222	815,500	5,474,722	170.9%
吉川市	3,551,000	1,453,495	20,000	1,473,495	41.5%
白岡市	2,730,000	2,795,342	0	2,795,342	102.4%
市地区合計	391,689,100	304,485,764	45,964,269	350,450,033	89.5%

(2)(郡)地区

(単位:円)

地区名	一般活動資金 依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
東部中央	8,479,500	7,139,177	646,000	7,785,177	91.8%
西部	12,707,600	18,205,516	953,645	19,159,161	150.8%
北部	4,947,200	6,975,414	782,000	7,757,414	156.8%
秩父	2,176,600	2,928,314	2,113,000	5,041,314	231.6%
(郡)地区合計	28,310,900	35,248,421	4,494,645	39,743,066	140.4%
市・郡 総合計	420,000,000	339,734,185	50,458,914	390,193,099	92.9%

(3)町村分区

(単位:円)

分区名	一般活動資金 依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
【東部中央】					
伊奈町	2,349,100	1,832,676	426,000	2,258,676	96.2%
宮代町	1,954,600	1,739,013	210,000	1,949,013	99.7%
杉戸町	2,550,700	2,215,068	5,000	2,220,068	87.0%
松伏町	1,625,100	1,352,420	5,000	1,357,420	83.5%
【西 部】					
三芳町	2,120,400	2,208,290	414,000	2,622,290	123.7%
毛呂山町	2,300,000	2,375,659	45,000	2,420,659	105.2%
越生町	692,300	1,287,500	66,145	1,353,645	195.5%
滑川町	943,600	1,978,465	40,000	2,018,465	213.9%
嵐山町	1,023,200	2,141,460	134,000	2,275,460	222.4%
小川町	1,781,100	1,969,470	64,000	2,033,470	114.2%
川島町	1,124,300	1,423,750	30,000	1,453,750	129.3%
吉見町	1,073,200	1,490,210	0	1,490,210	138.9%
鳩山町	819,600	1,150,612	140,500	1,291,112	157.5%
ときがわ町	660,000	1,721,500	20,000	1,741,500	263.9%
東秩父村	169,900	458,600	0	458,600	269.9%
【北 部】					
美里町	569,000	771,800	0	771,800	135.6%
神川町	770,200	903,164	11,000	914,164	118.7%
上里町	1,668,800	2,755,000	6,000	2,761,000	165.4%
寄居町	1,939,200	2,545,450	765,000	3,310,450	170.7%
【秩 父】					
横瀬町	476,900	522,824	947,000	1,469,824	308.2%
皆野町	579,600	996,250	532,000	1,528,250	263.7%
長瀨町	419,300	657,290	634,000	1,291,290	308.0%
小鹿野町	700,800	751,950	0	751,950	107.3%
町村分区合計	28,310,900	35,248,421	4,494,645	39,743,066	140.4%

10 活動資金募集内訳表

(1)一般活動資金

内 訳		会 費		寄 付 金		個人住民税にかかる指定事業				合 計	
						会費		寄付金			
1 件あたり金額		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1 千万円以上			2 件	20,000,000 円					2 件	20,000,000 円
2	100 万円以上 1 千万円未満	15 件	31,000,000 円	8 件	12,012,039 円	8 件	20,000,000 円			31 件	63,012,039 円
3	50 万円以上 100 万円未満	22 件	11,164,500 円	4 件	2,418,600 円	5 件	2,500,000 円			31 件	16,083,100 円
4	20 万円以上 50 万円未満	51 件	11,857,879 円	9 件	2,268,000 円	15 件	3,561,000 円			75 件	17,686,879 円
5	10 万円以上 20 万円未満	169 件	17,310,455 円	23 件	2,332,213 円	30 件	3,000,000 円			222 件	22,642,668 円
6	5 万円以上 10 万円未満	179 件	9,261,285 円	4 件	218,834 円	38 件	1,970,000 円			221 件	11,450,119 円
7	3 万円以上 5 万円未満	259 件	8,024,448 円	8 件	270,933 円	48 件	1,454,000 円			315 件	9,749,381 円
8	2 万円以上 3 万円未満	433 件	8,733,999 円	3 件	69,298 円					436 件	8,803,297 円
9	1 万円以上 2 万円未満	2,300 件	23,283,336 円	12 件	144,812 円					2,312 件	23,428,148 円
10	5 千円以上 1 万円未満	1,552 件	7,873,664 円	6 件	34,679 円					1,558 件	7,908,343 円
11	3 千円以上 5 千円未満	1,804 件	5,495,425 円	8 件	27,359 円	3 件	9,000 円			1,815 件	5,531,784 円
12	2 千円以上 3 千円未満	3,764 件	7,560,852 円	8 件	19,334 円	3 件	6,000 円			3,775 件	7,586,186 円
13	2 千円未満			331,116 件	340,070,263 円					331,116 件	340,070,263 円
	合 計	10,548 件	141,565,843 円	331,211 件	379,886,364 円	150 件	32,500,000 円			341,909 件	553,952,207 円

(2)法人活動資金

内 訳 1 件あたり金額		指定事業法人社資				その他法人社資				合 計	
		会費		寄付金		会費		寄付金			
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	2 千万円以上										
2	1 千万円以上 2 千万円未満					1 件	10,000,000 円			1 件	10,000,000 円
3	500 万円以上 1千万円未満	1 件	5,000,000 円			1 件	8,000,000 円	1 件	5,000,000 円	3 件	18,000,000 円
4	100 万円以上 500 万円未満	6 件	11,900,000 円			4 件	4,100,000 円			10 件	16,000,000 円
5	50 万円以上 100 万円未満	2 件	1,000,000 円			8 件	4,300,000 円	1 件	500,000 円	11 件	5,800,000 円
6	20 万円以上 50 万円未満	3 件	600,000 円			18 件	4,760,654 円	1 件	400,000 円	22 件	5,760,654 円
7	10 万円以上 20 万円未満	6 件	600,000 円			49 件	5,137,843 円			55 件	5,737,843 円
8	5 万円以上 10 万円未満	2 件	100,000 円			31 件	1,640,822 円			33 件	1,740,822 円
9	2 万円以上 5 万円未満	11 件	306,500 円			209 件	5,217,257 円			220 件	5,523,757 円
10	1 万円以上 2 万円未満	48 件	488,500 円			867 件	8,962,081 円	1 件	16,222 円	916 件	9,466,803 円
11	5 千円以上 1 万円未満	1 件	5,000 円			278 件	1,470,616 円	1 件	7,263 円	280 件	1,482,879 円
12	2 千円以上 5 千円未満					370 件	1,013,835 円	1 件	2,755 円	371 件	1,016,590 円
13	2 千円未満							1,234 件	101,307 円	1,234 件	101,307 円
	合 計	80 件	20,000,000 円			1,836 件	54,603,108 円	1,240 件	6,027,547 円	3,156 件	80,630,655 円

11 特別社員受章者

種別 \ 区分	個人	法人	合計
紺綬褒章	7件	1件	8件
厚生労働大臣感謝状	8件	3件	11件
社長感謝状	32件	27件	59件
金色有功章	21件	19件	40件
銀色有功章	57件	17件	74件
支部長表彰状	149件	32件	181件
特別社員章	607件	62件	669件

※令和2年度中の寄付に対する件数(申請中含む)

12 一日赤十字実施状況

	開催日	行事名	会場
越谷市	5月23日・24日(中止)	レイクタウン防災フェス2020	イオンレイクタウン
行田市	7月5日(中止)	第23回蓮まつり	行田市古代蓮の里
越谷市	9月26日・27日	アクトグリーンエコウィーク (防災フェス特別版)	イオンレイクタウン
南区	10月(中止)	第18回南区ふるさとふれあいフェア	浦和競馬場
秩父市	10月(中止)	であいの広場	羊山公園内
所沢市	10月(中止)	第41回所沢市民フェスティバル	所沢航空記念公園
深谷市	10月(中止)	第15回深谷市福祉健康まつり	深谷市総合体育館
越谷市	10月11日(中止)	第46回越谷市民まつり	越谷市役所周辺
飯能市	中止	飯能市地域防災訓練	飯能市美杉台小学校
羽生市	10月(中止)	第31回羽生市民福祉健康まつり	羽生市民プラザ
浦和区	11月3日(中止)	浦和区民まつり2020	浦和駅周辺
和光市	11月14日・15日(中止)	2020和光市民まつり	和光市役所周辺
川越市	11月(中止)	つばさ館まつり2020	川越市環境プラザ つばさ館
上尾市	2月(中止)	西上尾第2団地広場防災訓練	西上尾第2団地広場

13 戦後75年 戦時救護班史料展実施内容

- (1) 開催期間 11月4日～12月4日 ※有功会講演会を開催したため12月10日まで延長
- (2) 開催場所 日本赤十字社埼玉県支部 1Fボランティア室及び1Fエントランスの一部
- (3) 周知対象 本社パートナーシップ推進部、第2ブロック支部、支部管内施設、地区・分区、奉仕団委員長、有功会員、評議員、代議員、監査委員、各報道機関
- (4) 周知方法 (3)への郵送及び電子メールを使用し周知。チラシ及びポスターを配布し掲示の依頼を実施。その他、支部HPや支部近隣の掲示板に掲示。
- (5) 掲示内容 戦時救護に派遣された救護員のインタビュー映像の放映、当時の救護服や医療セットの装備品、派遣命令文書等の現物、救護活動の写真等の掲載
- (6) 放映映像 ※茨城県支部から救護服を借用、青森県支部から手製の赤十字旗を借用
川田氏及び木村氏にインタビューを行い、3分46秒のダイジェスト版を制作し、史料展会場に放映を行った。
- 【撮影日】
令和2年7月13日 木村美喜氏 インタビュー撮影
令和2年9月13日 川田春枝氏 インタビュー撮影(7月12日予定を変更)
- 【撮影及び制作者】
一般社団法人 Honmono協会 監督：霞翔太
- (7) 来場者 253人(追悼式参列者を含む)
- (8) 委託業者 株式会社 アップオンリーAD

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

The Fundamental Principles of the International Red Cross and Red Crescent Movement

国際赤十字・赤新月運動の基本原則は、第20回赤十字国際会議(1965年[昭和40年]於ウィーン)において宣言された。

この原文では文中の主語が「赤十字は」となっていますが、第25回赤十字国際会議(1986年[昭和61年]於ジュネーブ)では、これを「国際赤十字・赤新月運動は」と改訂し、現在の基本原則が採択された。

人道(Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

公平(Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別もしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立(Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立(Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕(Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一(Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字・赤新月社しかありえない。赤十字・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性(Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

赤十字国際標語一覧

- 1960年（昭和35） 赤十字はいつもあなたとともに
1961年（昭和36） 赤十字の手は村にも国にも世界にも
1962年（昭和37） 美しい心と力をあつめて赤十字は活動する
1963年（昭和38） 人道をささえて赤十字100周年
1964年（昭和39） お互いの守りのためにみんなで赤十字をささえよう
1965年（昭和40） 若人の胸に赤十字を
1966年（昭和41） 世界の赤十字 みんなの赤十字
1967年（昭和42） 生命の守りを
1968年（昭和43） 赤十字はみんなのしごと
1969年（昭和44） あすに備える赤十字
1970年（昭和45） 人間を戦争からまもろう（人道法の実施、普及、発展）
1971年（昭和46） どこへでもいつでも赤十字
1972年（昭和47） 赤十字は人道のかけ橋
1973年（昭和48） あなたとあなたの世界に赤十字
1974年（昭和49） いのちを守る赤十字！（救急法、水上安全法、家庭看護法の普及）
1975年（昭和50） 赤十字：危急のときのいのち綱
1976年（昭和51） 行動する赤十字
1977年（昭和52） 人の和を世界に広げる赤十字
1978年（昭和53） 参加しよう赤十字
1979年（昭和54） 愛の手で世界を結ぶ赤十字
1980年（昭和55） 赤十字：みんなのために どこまでも
1981年（昭和56） あなたとともに赤十字
1982年（昭和57） あなたの身近に赤十字
1983年（昭和58） とっさの手当がいのちを守る！！覚えよう救急法
1984年（昭和59） 人道を通じて平和へ
1985年（昭和60） あなたの若さを一赤十字
1986年（昭和61） いのちを救う愛の献血一赤十字
1987年（昭和62） 幼い生命に愛の手を一赤十字
1988年（昭和63） 伝統を明日への力に一赤十字
1989年（平成1） 愛の手を世界に広げる赤十字
1990年（平成2） 守ろう！人のいのちと尊さを
1991年（平成3） 救おう！災禍にあえぐ人々を ～生命と尊厳を守る赤十字～
1992年（平成4） 災害に備えて守る尊い生命一赤十字
1993年（平成5）～2000年（平成12） すべての人々に人間の尊厳を
2001年（平成13）～2004年（平成16） 人道は限りない力
2005年（平成17）～2007年（平成19） 守ろう人間の尊さを
2008年（平成20）～ 人間を救うのは、人間だ。

皇室と赤十字

皇室と赤十字との関係は、博愛社設立のとき、有栖川宮熾仁親王のご尽力をいただいて以来、深いつながりを持ち続けている。

1912年(明治45年)、昭憲皇太后より赤十字の平時事業振興のためにと、国際赤十字に対し10万円の御下賜金があった。更に1934年(昭和9年)、東京で開かれた第15回赤十字国際会議に際して、貞明皇后より10万円の追贈があり、その後1963年(昭和38年)には、皇后陛下より360万円、1968年(昭和43年)には明治100年を記念して100万円の御下賜金をいただいている。

国際赤十字では、昭憲皇太后基金と名づけ、その利子を赤十字平和事業の推進に活用されている。

なお、令和2年度における名誉総裁・名誉副総裁は次のとおりである。

名誉総裁	皇后陛下
名誉副総裁	秋篠宮皇嗣妃殿下
	常陸宮殿下・同妃殿下
	三笠宮妃殿下
	寛仁親王妃信子殿下
	高円宮妃殿下

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

令和2年度 事業概要



〒330-0064さいたま市浦和区岸町3-17-1
TEL 048-789-7117 FAX 048-834-1520
公式ホームページ
<https://www.jrc.or.jp/chapter/saitama>
公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/redcrosssaitama>